オーナーズマニュアル

オーナーズマニュアル

日本人

SCRAMBLER
DUCATI

本取扱説明書はモーターサイクルを構成する一部であり、使用期間中はモーターサイクルと併せて保管してください。
所有者が変更される場合は、本取扱説明書も併せて新しい所有者に譲渡してください。
本取扱説明書は大切に保管してください。損傷や紛失した場合は、速やかに Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターに新しい取扱説明書をご請求ください。

ドゥカティモーターサイクルの品質と安全性は、デザイン、装備、アクセサリーの開発に伴い絶えず進化しています。本取扱説明書には印刷の時点での最新情報が記載されていますが、Ducati モーターホールディング社は本書内容を予告なしにいつでも変更する権利を有します。そのため、お客様がお持ちのモーターサイクルは本書に記載する参照図と異なる場合があります。

楽しいライディングを！

目次

主な整備作業とメンテナンス　136

メンテナンスプログラム　163

テクニカル仕様　168

はじめに

安全性ガイドライン

この度は Ducati 製品をご購入いただきありがとうございます。お客様をドゥカティストの仲間としてお迎えできることは、私達にとって何よりの喜びです。この新しいバイクを日常的に利用されるだけではなく、ロングツーリングも楽しまれることと思います。Ducati モーターホールディング社は、そのライディングが常に快適で楽しいものであるよう願っております。

お客様のモーターサイクルは、Ducati モーターホールディング社の絶え間ない研究と開発から得られたものです。定期点検を必ず実施し、純正スペアパーツを使用することで品質を維持することが大切です。
本取扱説明書には簡単なメンテナンス作業の実施方法が記載されています。より重要なメンテナンス作業は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターでご覧いただけるワークショップマニュアルに記載されております。
お客様ご自身の安全のため、また製品の安全性、信頼性を保証するために、メンテナンスプログラムのすべての作業を Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施していただくことを強くお薦めします ページ 163 参照。

Ducati の熟練したスタッフが、どのような整備作業にも対応できる専用器具と適切な工具を備え、最適な互換性、円滑な作動、ロングライフを保証する Ducati 純正パーツのみを使用し、最善のサービスを提供いたします。

すべての Ducati モーターサイクルには保証書が付属しております。
車両を競技やそれに類する目的に使用する場合は保証の対象外となります。
車両や部品の一部であっても改造または変更した場合、保証は適用されません。メンテナンスが正しく行われなかったり不十分であった場合、また純正ではないスペアパーツや Ducati が承認していないスペアパーツが使用されている場合、車両に損傷を招いたり、期待される性能が得られないばかりでなく、保証が適用されなくなることがあります。

お客様とその他の人の安全を守ることは非常に重要です。お客様が責任を持ってモーターサイクルをご使用になられますようお願いいたします。
モーターサイクルを初めてご使用になる前に、本取扱説明書を最初から最後までよくお読みになり、記載されているガイドラインに正しく従ってください。

正しい使用方法とメンテナンスに関するすべての情報を得ることができます。車両について不明な点、さらに詳しくお知りになりたい点がある場合は、ご購入先の正規ディーラーにお問い合わせください。

本マニュアルで使用されている警告シンボル

お客様または他の人に負わせる可能性のある危険について、以下のような異なる形式で記載されています。

– モーターサイクルの安全性に関するラベル
– 注意シンボル、および警告または重要シンボルのうちの一つで表わされる安全性に関するメッセージ

警告
これらの注意事項が守られない場合、ライダーまたは他の人の重大なけがや死亡事故を招くおそれがあります。

重要
車両や車両構成部品に損傷を与える可能性があります。

参考
作業上の追加注意事項。

文中の「右」、「左」の表記は、車両の進行方向に向かっての左右を意味します。

用途

警告
このオートバイはオンロード用に設計されていますが、路面状態の良好なオフロードであれば一時的に使用可能です。本来の設計条件以外（公道以外の場所、山林、原野、海岸、砂漠等）での使用は、車両のコントロールを失い転倒の危険性が高まります。

警告
本モーターサイクルでのトレーラーのけん引やサイドカーの取り付けは行わないでください。車両のコントロールを失い、事故を招くおそれがあります。

本モーターサイクルにはライダーが搭乗し、パッセンジャーを一人乗せることができます。

⚠ 警告
ライダー、パッセンジャー、荷物、オプションパーツを含む車両総重量が 365kg を超えないようにしてください。

ライダーの義務

運転者は運転免許証を受けていなければなりません。

⚠ 警告
無免許運転は違法です。こうした行為は法律で罰せられます。モーターサイクルを運転する前に、運転免許証を携帯していることを必ず確認してください。経験の浅い運転者や運転免許証を有しない人に運転をさせないようにしてください。

アルコールまたは薬物の影響を受けている状態で運転しないでください。

⚠ 警告
アルコールや薬物の影響が残っている状態で運転するのは違法です。こうした行為は法律で罰せられます。

医師から副作用についての説明を受けずに、運転前に薬を服用しないようにしてください。

⚠ 警告
薬によっては眠気やその他の症状を引き起こすことがあります。運転者が思うようにモーターサイクルを操縦できず、制御不能に陥り事故を招くおそれがあります。

一部の国では保険への加入が義務付けられています。

⚠ 警告
現地の法律をご確認ください。保険に加入し、保険証明書はモーターサイクルの他の書類と一緒に大切に保管してください。

運転者および同乗者の安全を守るため、一部の国では基準適合ヘルメットの着用が法律で義務付けられています。

⚠ 警告
現地の法律をご確認ください。ヘルメットを着用せずに運転すると罰則が科せられることがあります。

警告

事故が起こったときヘルメットを着用していないと、重大な傷害を受ける危険性が高くなり、最悪の場合死に至ることがあります。

警告

ヘルメットが安全規格に適合していること、十分な視野が取れていること、頭に合ったサイズであること、ご使用になる国の基準適合マークが貼付されてることを確認してください。道路交通法は各国で異なります。モーターサイクルを運転する前に現地の法律を確認し、必ずそれに従ってください。

ライダーの教育

多くの事故は経験不足のために起こります。運転、操作、ブレーキは他の車両とは違う方法で行わなければなりません。

警告

ライダーの経験不足や車両の不適切な使用は、コントロールを失い、死亡事故や重大な損傷の原因になるおそれがあります。

服装

モーターサイクルを運転する際に着用する装備は安全を確保する上で大変重要な役割を果たします。モーターサイクルは自動車のように乗員を衝撃から守ることはできません。

適切な装備とは、ヘルメット、目を保護するもの、グローブ、ブーツ、長袖ジャケット、ロングパンツからなります。

- ヘルメットは ページ 9 に記載されている要件を満たしていなければなりません。シールドが付いていないモデルの場合は、適切なゴーグルを着用してください。
- グローブは革製もしくは摩擦に強い素材を用いたもので、5 本指のものを着用してください。
- 運転する際のブーツやシューズは、アンチスリップソールとアンクルプロテクターを装備しているものを着用してください。
- ジェケットとパンツ、もしくはプロテクトスーツについては、革製のものか摩擦に強い素材を用いたもので、視認性を高めるカラーインサートが付いているものを着用してください。

重要

車両の部品に巻き込まれるおそれがあるような、ゆったりとした衣類やアクセサリーの着用は避けてください。

重要
安全のために夏冬季節に関係なく適切な装備を着用してください。

重要
パッセンジャーも安全のため、適切な服を着用してください。

安全のための”ベストプラクティス”
モーターサイクルの使用前後および使用中には、人の安全を確保し、モーターサイクルを最善の状態に維持するために大切な、簡単にできる作業は必ず実行してください。

重要
慣らし運転期間中は、本冊子の ”使用規定” の章に記載されている指示に従ってください。
この条件が遵守されなかった結果としてのエンジンの損傷や寿命の短縮については、Ducati モーターホールディング社はいかなる責任も負うものではありません。

警告
運転する上で必要なコマンド類について十分な知識がない状態で運転を行わないでください。

エンジンを始動する前に、本冊子が定める点検を必ず実施してください (ページ 127 を参照)。

警告
これらの点検を怠ると、車両に損傷を与え、ライダーやパッセンジャーに重大な傷害を招くおそれがあります。

警告
エンジンの始動は必ず換気の良い適切な場所で行ってください。閉めきった場所では絶対にエンジンを始動しないでください。
排出ガスは有毒です。短時間で意識を失ったり、さらには死に至る危険性があります。
走行中は適切な姿勢を保ち、パッセンジャーも同様に正しい姿勢で乗車していることを確認してください。

重要
ライダーはハンドルから絶対に手を離さないでください。

重要

走行中、ライダーおよびパッセンジャーは必ず足をペダルに乗せてください。

重要

パッセンジャーはシート下のフレームの所定のハンドルバーを常に両手で握ってください。

重要

私有地や駐車場からの出口、または高速道路の入口などでの交差点では十分に注意してください。

重要

相手から良く見えるように心がけ、前方車両の死角に入って走行することは避けてください。

重要

右左折や走行車線を変更する際は、常に十分な余裕を持ってターンインジケーターで意思表示を行ってください。

重要

モーターサイクルはサイドスタンドを使用して、他の邪魔にならないように駐車してください。路面の悪い場所や柔らかい場所には駐車しないでください。モーターサイクルが転倒する危険があります。

重要

タイヤは定期的に点検し、特に側面に傷やヒビがないか、突起、広範囲のシミ、内部の損傷を表すような箇所がないかチェックしてください。損傷が著しい場合はタイヤを交換してください。
トレッドに入り込んだ石や異物は取り除いてください。

警告

エンジン停止後でもエンジン、エキゾーストパイプ、サイレンサーは高温な状態が続きます。身体が触れないよう十分注意し、車両を木材や木の葉などの可燃物のそばに駐車しないようにしてください。

警告

モーターサイクルの傍から離れる際は、必ずイグニッションキーを抜き取り、他人が勝手に使用できない場所にキーを保管してください。

燃料の補給

燃料の補給は屋外で、エンジンが停止している状態で行います。
給油中は絶対に喫煙せず、火気を近付けないでください。
エンジンおよびエキゾーストパイプに燃料がかからないように注意してください。
給油の際は燃料タンクを完全に満タンにしないでください。燃料レベルは燃料タンクの給油口より低くなければなりません。
給油中は燃料の蒸気をできるだけ吸いこまないようにし、目、皮膚、服に触れないようにしてください。

警告
この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料（E10）のみ使用することができます。
エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁じられています。こうした燃料を使用するとエンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用した場合は保証の対象外になります。

警告
燃料の蒸気を長時間吸い込み気分が悪くなった場合には、屋外にとどまり、医師に相談してください。目に入った場合は大量の水で洗い流し、皮膚に触れた場合は速やかに水と石鹸で洗ってください。

警告
燃料は非常に引火しやすいため、間違って衣服に付着した場合には着替えてください。

最大積載時の運転

このバイクは最大積載時でも長距離を安全に走行できるように設計されています。
車両の重量配分は、安全基準を維持するため、また悪路走行や急な進路変更時のトラブルを避けるためにとても重要です。

警告
サイドバッグおよびトップケース装着時の最高速度は 130 Km/h を超えないでください。いずれの場合も法定速度を遵守してください。

警告
最大許容重量を超えないようにしてください。また以下に記載されている車両への積載に関する注意事項をよくお読みください。

車両への積載に関する注意

重要
積み荷は車両の中心に近く、できる限り低い位置に配置してください。

重要
車両が不安定になりますので、ステアリングヘッドやフロントマッドガード部に体積や重量のかさむものを固定しないでください。

重要
バッグなどの荷物は車体にしっかり固定してください。確実に固定されていないと、運転が不安定になる危険があります。

重要
車両の可動部分の妨げになるおそれがありますので、フレームのすき間に絶対に物を挟まないでください。

警告
タイヤの空気圧が適正であり、コンディションが良好であることを確認してください。

ページ 155 の”タイヤ”の段落を参照してください。

危険物 - 警告

使用済みエンジンオイル

警告
使用済みエンジンオイルが長期間わたり繰り返し表皮に触れると、上皮がんの原因になる場合があります。日常的に使用済みエンジンオイルを使用する場合、作業後すぐに水と石鹸で手を十分に洗ってください。お子様の手の届かないところに保管してください。

ブレーキダスト

ブレーキシステムの清掃に圧縮空気を噴射したり、乾いたブラシは絶対に使用しないでください。

ブレーキフルード

警告
車両のプラスチック、ゴム製部品、塗装された部品にブレーキフルードがかかると、部品が破損する原因になる場合があります。作業をおこなう場合は、毎回システムのメンテナンスを実施する前にきれいな布をこれらの部品の上にかけてください。お子様の手の届かないところに保管してください。

警告
ブレーキフルードは腐食性があります。万一目に入ったり肌に触れたりした場合は、流水でしっかりと洗い流してください。

クーラント

エンジンクーラントに含まれるエチレングリコールは特定の条件下において可燃性があり、その炎は肉眼では見えません。エチレングリコールが発火した場合、その炎が肉眼では見えないため重大な火傷につながるおそれがあります。

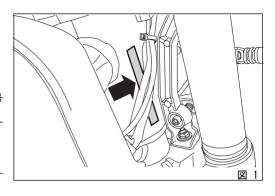
警告
エンジンクーラントがエキゾーストシステムやエンジン部品にかからないようにしてください。

車両識別番号

参考
これらの番号は車両モデルを識別するもので、部品を注文する際にも必要です。

以下の欄にご自身のモーターサイクルのフレーム番号（図 1）を控えておくことをお勧めします。

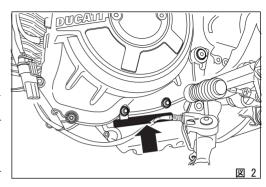
フレーム　N.

図 1

エンジン識別番号

参考
これらの番号は車両モデルを識別するもので、部品を注文する際にも必要です。

以下の欄にご自身のモーターサイクルのエンジン番号（図 2）を控えておくことをお勧めします。

エンジン　N.

図 2

パーソナライズ

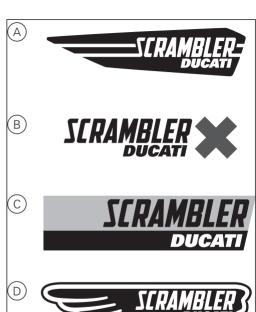
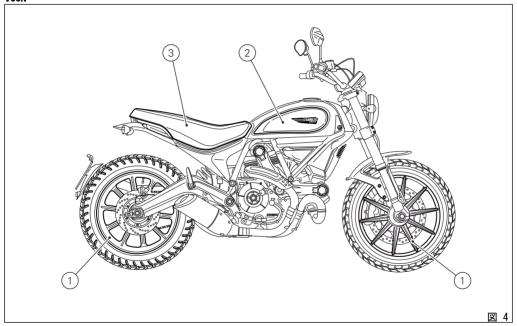
それぞれのバージョンが SCRAMBLER のカスタマイズバージョンです。
SCRAMBLER には 4 通りのカスタマイズが用意されています。

- ICON (A)
- URBAN ENDURO (B)
- FULL THROTTLE (C)
- CLASSIC (D)

本マニュアルに含まれている情報は Scrambler ICON に関するものになります。それ以外のカスタマイズバージョン (URBAN ENDURO、FULL THROTTLE、CLASSIC) に関する情報については、Scrambler ICON と異なる場合に限り表記されます。

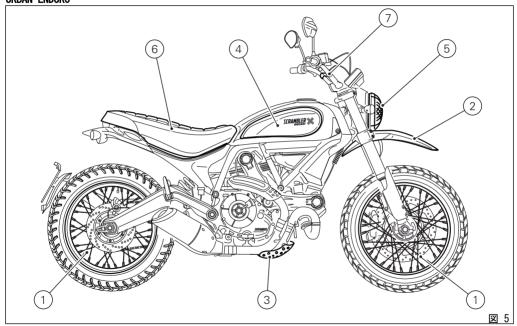
図 3

ICON

図 4

ICON

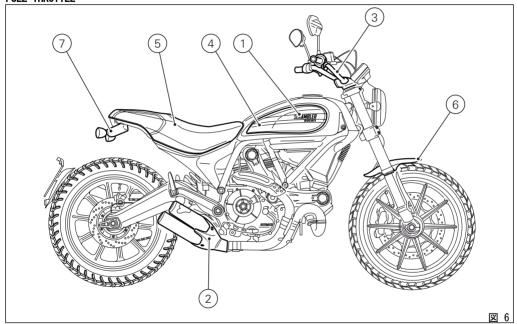
1) 軽合金10本スポークホイール
2) 専用ロゴステッカー
3) 専用シート

URBAN ENDURO

図 5

URBAN ENDURO

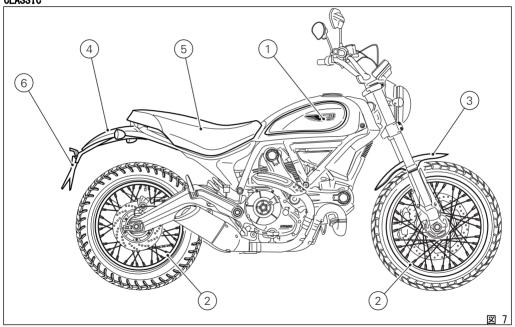
1) ワイヤースポークホイール
2) ハイポジションフロントマッドガード
3) オイルパンガード
4) 専用ロゴステッカー
5) ヘッドライトグリッドキット
6) 専用シート
7) ハンドルブレース
8) フロントフォークガード

FULL THROTTLE

図 6

FULL THROTTLE

1) 専用ロゴステッカー
2) エキゾーストエンドキット（テルミニョーニ）
3) ロータイプハンドルバー
4) ブラックアルマイトサイドカバー
5) 専用レーシングシート
6) フロントショートマッドガード
7) リアターンインジケーター、スプラッシュガードなし

CLASSIC

図 7

CLASSIC

1) 専用エンボスロゴ
2) アルミニウム製ワイヤースポークホイール
3) アルミニウム製サテン加工フロントロングマッドガード
4) サテン加工リアロングマッドガード
5) 専用シート
6) ハイポジションナンバープレートホルダー

インストルメントパネル（ダッシュボード）

インストルメントパネル

1）LCD
2）タコメーター（rpm）
1 分間のエンジン回転数を表示します。
3）ニュートラルランプ N（緑）
ギアポジジションがニュートラルの時に点灯します。
4）ハイビーム表示灯 （青）
ハイビーム点灯時およびフラッシュ起動時に点灯します。
5）エンジンオイル圧警告灯 （赤）
エンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。"KEY-ON" 時に点灯しますが、エンジンを始動してから数秒後に消灯します。エンジン温度が高い時に、場合によって数秒間点灯することがありますが、回転数が上がると消灯します。

重要
エンジンオイルランプが点灯し続ける場合は、エンジンが破損するおそれがありますので車両を使用しないでください。

6）リザーブ燃料警告灯 （琥珀色）
燃料レベルがリザーブ状態になると点灯します。点灯時点の燃料残量は約 4 リットルです。
7）ターンインジケーター表示灯 （緑）
ターンインジケーターの作動中、左右いずれかの表示灯が点滅します。ハザード作動中は、左右の表示灯が同時に点滅します。
8）"エンジン/車両診断 - EOBD" ランプ （琥珀色）
エンジンや車両にエラーがあると点灯しますが、場合によってはエンジン停止につながることもあります。

9) ABS ランプ （琥珀色）

ABS 停止もしくはエラー時に点灯します。

<table>
<tr><th colspan="3">エンジン停止 / 走行速度 5 km/h 以下</th></tr>
<tr><th>ランプ OFF</th><th>点滅</th><th>点灯</th></tr>
<tr><td>-</td><td>メニューの ″ABS″ 機能を使って ABS が解除されている</td><td>ABS は起動しているが、まだ機能していない</td></tr>
<tr><th colspan="3">エンジン稼動 / 走行速度 5 km/h 以下</th></tr>
<tr><th>ランプ OFF</th><th>点滅</th><th>点灯</th></tr>
<tr><td>-</td><td>メニューの ″ABS″ 機能を使って ABS が解除されている</td><td>ABS は起動しているが、まだ機能していない</td></tr>
<tr><th colspan="3">エンジン稼動 / 走行速度 5 km/h 以上</th></tr>
<tr><th>ランプ OFF</th><th>点滅</th><th>点灯</th></tr>
<tr><td>ABS 機能作動中</td><td>メニューの ″ABS″ 機能を使って ABS が解除されている</td><td>問題発生のため、ABS は解除され作動していない</td></tr>
</table>

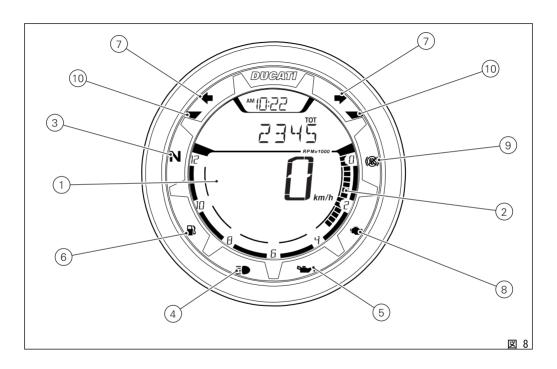
10) OVER REV / イモビライザー停止 / 盗難防止（赤）

	Over rev
干渉なし	ランプ OFF
第一起点値（リミッター に到達前 N RPM)	ランプ ON
リミッター	ランプ ON 点滅

参考

エンジンコントロールユニットの各キャリブレーションで起点値とリミッター値の設定が異なる場合があります。

	イモビライザー
車両 KEY-ON	ランプ OFF
車両 KEY-OFF	ランプ ON 点滅
12 時間以上車両 KEY-OFF	ランプ OFF

7
7
10
10
DUCATI
AM
10:22
TOT
2345
3
N
RPMx1000
9
12
0
1
ABS
0
km/h
2
10
2
8
6
4
6
8
4
5
図 8

取扱説明書内で使用される頭字語および略語

ABS
アンチロックブレーキシステム
CAN
コントローラーエリアネットワーク
DDA
ドゥカティデータアナライザー
DSB
インストルメントパネル
ECU
エンジンコントロールユニット

技術用語

アンチロックブレーキシステム（ABS）9M

ABS 9M はデュアルチャンネルの次世代システムです。リアホイールのリフティングを制御するインテグラルブレーキにより、制動距離を短くするだけでなく、制動時の高い安定性を確保します。

機能ボタン

1) コントロールボタン UP ″ ▲ ″

インストルメントパネルのパラメーター設定および表示に使用するボタン ″ ▲ ″。

2) コントロールボタン DOWN ″ ▼ ″

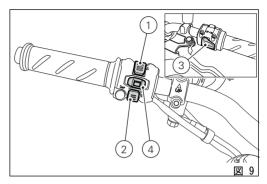
インストルメントパネルのパラメーター設定および表示に使用するボタン ″ ▼ ″。

3) フラッシャーランプボタン

ボタンを押すとハイビームが点滅します。

4) ターンインジケーター解除ボタン

このボタンは通常ターンインジケーターの解除機能に使用しますが、メニュー決定、ライディングモードの選択にも使用します。このボタンを左側に 3 秒間押すと、″ハザード″ 機能（すべてのターンインジケーターランプが点滅）が起動します。

図 9

パラメーターの設定 / 表示

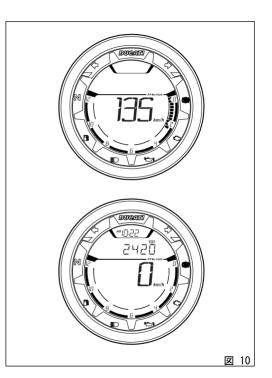
KEY-ON 時、インストルメントパネルは次のような動作を行います。

- ディスプレイのバックライトが点灯。
- タコメーターが点灯。"0" から "12000" まで増加したのち、"0" に戻ります。
- スピードメーターが点灯。数値が "0" から "300" まで増加したのち、"0" に戻ります。
- 警告灯類が右側から左側に向かって順に点灯します。

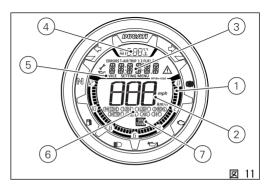
点検が終了すると、インストルメントパネルは所定の機能が表示されるメイン画面（"スタンダードスクリーン"）に移り、警告がある場合は警告灯が点灯します。

初期点検中に車両速度が 20 km/h（実速度）を超えると、インストルメントパネルは以下の点検を中断します。

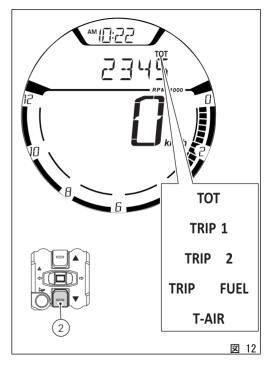
- ディスプレイの点検。更新情報をスタンダードスクリーンに表示します。
- 警告灯の点検。その時点で実際に起動しているもののみ点灯します。

図 10

メイン画面には以下の情報が表示されます。

1) エンジン回転数
2) 車両スピード
3) メニュー 1（オドメーター、トリップメーター 1、トリップメーター 2、燃料リザーブトリップメーター、外気温度、エラー表示 - エラー検知時のみ）
4) 時計
5) SERVICE 表示（起動している場合のみ）
6) 設定メニュー
7) サイドスタンドの状態

図 11

左側スイッチのボタン（2）を押すと、メイン画面にメニュー 1 の情報を表示することができます。

- オドメーター（TOT）
- TRIP 1
- TRIP 2
- 燃料リザーブトリップメーター（TRIP FUEL - 起動時のみ）
- T - AIR

図 12

インストルメントパネルには Key-OFF 時に使用していたメニュー 1 の設定が記憶されます。次の Key-ON 時、前回記憶したメニュー 1 のページが表示されます。
急な Key-OFF (電源供給が突然途絶えた) の場合は、次回の Key-ON 時にインストルメントパネルには次のデフォルト設定が表示されます。

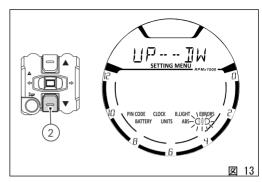
- メニュー 1 デフォルトページ = オドメーター (TOT)

KEY-ON 時には毎回、インストルメントパネルのメニュー 1 に 10 秒間 "オドメーター" のページが表示され、その後、前回の KEY-OFF 時に保存したページが表示されます。

車両の実速度が 20 km/h 以下の状態でボタン (2) を 3 秒間押すと、機能設定を行うことができる設定メニューに入ります。

重要

車両の実速度が 20 km/h 以下のときのみ設定メニューに入ることができます。設定メニューが表示されているときに車両の実速度が 20 km/h を超えると、インストルメントパネルは自動的に設定メニューを終了し、スタンダードスクリーンを表示します。

図 13

主な機能

スタンダードスクリーンに表示される機能

メイン機能

- 車両スピード
- エンジン回転数表示 RPM
- メニュー 1 には以下の機能が表示されます。
  - オドメーター (TOT)
  - トリップメーター1 (TRIP 1)
  - トリップメーター2 (TRIP 2)
  - 燃料リザーブトリップメーター (TRIP FUEL)
  - 外気温 (AIR)
  - 時計

サブ機能

- メンテナンス表示 (SERVICE)
- エラー表示

設定メニューのうち以下の機能はユーザーによる変更が可能です。

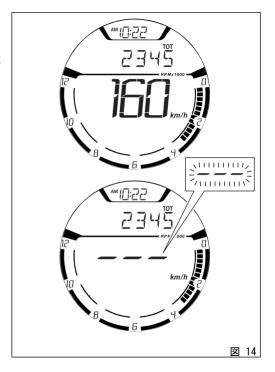
- PIN CODE（PIN CODE の起動および変更）
  CLOCK（Clock - 時計の調整）
  LIGHT（バックライト調整）
  BATTERY（バッテリー電圧表示）
  UNITS（表示単位の設定）
  ABS（ABS コントロールユニットの起動 - 解除）
  EXIT（設定メニューの終了）

車両スピード

この機能は車両の走行速度を表示します（設定により km/h または mph）。
インストルメントパネルは車両の実速度（km/h で算出）情報を受信し、それに 5% 上乗せしたデータを設定した単位（km/h または mph）で表示します。
表示最高速度は 299 km/h（186 mph）です。

以下の場合には ″– – –″ と単位が表示されます。

- 速度が 299 km/h（186 mph）を超えた場合、またはインストルメントパネルが速度情報を受信しない場合（″– – –″ 点灯）
- リアスピードセンサーに異常がある場合（″– – –″ 点滅）

図 14

エンジン回転数表示（RPM）

この機能はエンジン回転数を表示します。
インストルメントパネルにはエンジン回転数データが表示されます。
エンジン回転数データは、回転数に相当する棒グラフの目盛りが右から左へ点灯して表示されます。

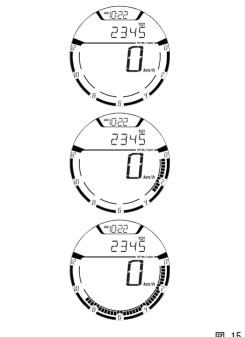
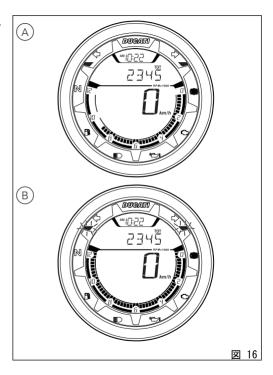



図 15

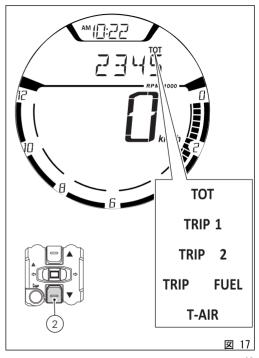
リミッター手前の次の起点値で警告灯が点灯します。
第一起点値 8900 rpm (A)
リミッター (B) に達すると、警告灯は点滅します。

図 16

メニュー 1 の機能

メニュー1 の機能：

- オドメーター（TOT）
- トリップメーター1（TRIP 1）
- トリップメーター2（TRIP 2）
- 燃料リザーブトリップメーター（TRIP FUEL）
- 外気温（T-AIR）

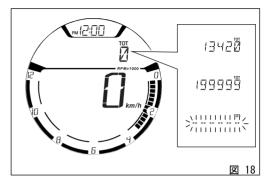
ボタン（2）を押すと、メニュー1 の機能を表示します。

図 17

オドメーター（TOT）

オドメーターは車両の総走行距離を設定単位（キロまたはマイル）でカウント、表示します。
オドメーターに対応する数値（キロ またはマイル）は、”TOT” の文字と単位で表示されます。最大値（199999 km または199999 mi）に達するとインストルメントパネルにその値が表示されたままになります。
オドメーターの値は常に保存され、いかなる理由でもリセットすることはできません。

電源の供給が中断（バッテリー OFF）してもデータは消去されません。

図 18

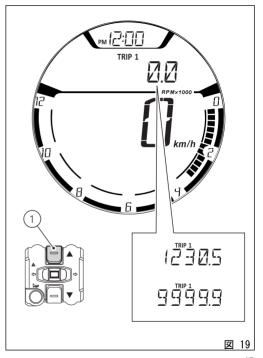
参考

Key-ON 時にインストルメントパネルは 10 秒間オドメーターを表示し、その後ユーザー設定ページの画面に移ります。

参考

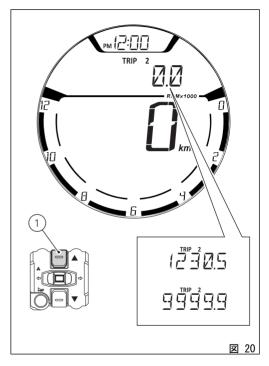
オドメーター機能で点線 ” ----- ” が点滅表示される場合は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

トリップメーター1 (TRIP 1)

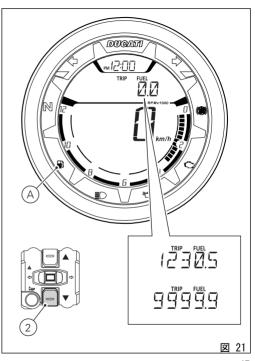
トリップメーターは車両の部分走行距離を設定単位（キロまたはマイル）でカウント、表示します。
データが最大値 9999.9 km または 9999.9 mi を超えると、カウンターは自動的にリセットされ、再びゼロからカウントを始めます。
トリップメーターの表示中にボタン（1）を 3 秒間押すと、TRIP 1 のデータがリセットされます。
TRIP 1 のカウンターは、システムの単位を手動で変更した場合、もしくは電源の供給が中断された場合（バッテリー上がり等）にも自動的にリセットされます。カウンターは新しく設定した単位で再びゼロからカウントを始めます。

図 19

トリップメーター2 (TRIP 2)

トリップメーターは車両の部分走行距離を設定単位(キロまたはマイル) でカウント、表示します。
データが最大値 9999.9 km または 9999.9 mi を超えると、カウンターは自動的にリセットされ、再びゼロからカウントを始めます。
トリップメーターの表示中にボタン (1) を 3 秒間押すと、TRIP 2 のデータがリセットされます。
TRIP 2 のカウンターは、システムの単位を手動で変更した場合、もしくは電源の供給が中断された場合(バッテリー上がり等) にも自動的にリセットされます。カウンターは新しく設定した単位で再びゼロからカウントを始めます。

図 20

燃料リザーブトリップメーター（TRIP FUEL）

燃料リザーブトリップメーターは、車両のリザーブでの走行距離（燃料リザーブランプが点灯した時点からの車両の走行距離）を設定単位（キロまたはマイル）でカウント、表示します。
燃料リザーブランプ（A）が点灯すると、ディスプレイにその時点で表示されている機能に関係なく TRIP FUEL 機能が表示されます。その後、ボタン（2）を押してメニューの他の機能をスクロール表示することができます。
リザーブタンク使用の状態が続く場合は、Key-OFF 後もデータは記憶されます。カウンターはリザーブ状態でなくなった時点で自動的に中断されます。
データが最大値 9999.9 km または 9999.9 mi を超えると、カウンターは自動的にリセットされ、再びゼロからカウントを始めます。

図 21

参考

システムの測定単位を変更した場合、もしくは電源供給が中断（バッテリー OFF）した場合は、その時点でこの機能はリセットされ、走行距離は再びゼロからカウントされます（新しく設定された単位を使用）。

外気温 (AIR)

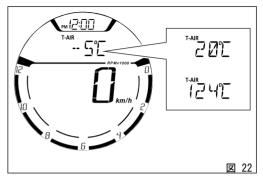
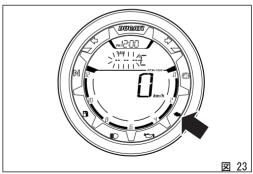
インストルメントパネルは設定された単位 (° C または ° F) に換算された外気温、設定単位、T-AIR の文字を表示します。温度データは -39 ° C～+124 ° C (-38 ° F～+255 ° F) の場合に表示されます。それ以外の温度 (-39 ° C (-38 ° F) 未満 か +124 ° C (+255 ° F) を超える場合) では ” − − − ” と単位が表示されます。

気温センサーエラーの場合、インストルメントパネルには単位と共に ” − − − ” が点滅します。さらに、EOBD ランプが点灯します。

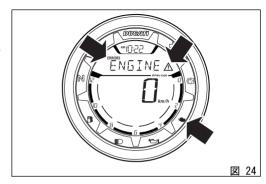
参考

エンジンの熱が停車中の車両の温度表示に影響を与える場合があります。

図 22

図 23

エラー

インストルメントパネルは車両の不具合をリアルタイムに識別するためにエラー信号を管理します。
Key-ON 時にエラーが検知された場合、あるいは通常作動時にエラーが発生した場合は、インストルメントパネルに EOBD ランプ、警告マークが点灯し、該当するエラーが表示されます。

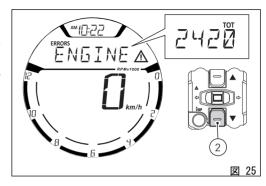
図 24

エラー表示

現在存在しているエラーはメニュー内に表示されます。この場合も、ボタン (2) を押してメニュー内の他の機能を表示することができます。

複数のエラーが存在する場合、各エラー表示が 3 秒ずつ順番に表示されます。
エラーを受信すると同時に EOBD ランプが点灯します。

⚠ 警告

ひとつ以上のエラーが表示される場合には、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。

図 25

表示エラーの説明

エラー表示	説明
ENGINE	スロットルポジションセンサー不具合
	スロットルリレーまたはスロットルモーター（ステッピングモーター）不具合
	圧力センサー不具合
	エンジンクーラント温度センサー不具合
	インジェクションリレー不具合
	イグニションコイル不具合
	インジェクター不具合
	エンジン回転数センサー不具合
	ラムダセンサーまたはラムダセンサーヒーター不具合
	車両スターターリレー不具合
	セカンダリーエアバルブ不具合
AIR - T.	外気温センサー不具合
BATT.	バッテリー電圧が高すぎる、または低すぎる
FUEL	NTC リザーブセンサー不具合
ABS	ABS コントロールユニットが伝達を行いません/正常に機能していません
	フロントおよび/またはリアスピードセンサー不具合

エラー表示	説明
CAN	CAN ラインエラー（各種コントロールユニットの通信ライン）
IMMO	一般的なエラー
DSB	DSB コントロールユニットが伝達を行いません/正常に機能していません
SD.STND	サイドスタンドセンサーが機能していない

エラーアイコン表

ランプ / エラーメッセージ		エラー
	ENGINE	エンジンコントロールユニット
	AIR - T.	気温センサー
	BATT.	バッテリー電圧
	SPEED	スピードセンサー
	FUEL	リザーブフューエルセンサー
	ABS	ABS コントロールユニット
	CAN	Can Bus OFF
	IMMO	イモビライザーアンテナ
	DSB	インストルメントパネルコントロールユニット

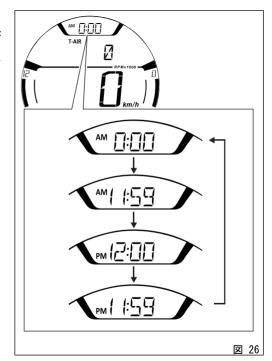
ランプ / エラーメッセージ	エラー
SD.STND	サイドスタンドセンサー

時計

インストルメントパネルは時間に関する情報を表示します。
インストルメントパネルは時間を次のように表示します。

- hh（時間）：mm（分）：
- AM 表示（0:00 から 11:59 まで）、または PM 表示（12:00 から 12:59 までと、1:00 から 11:59 まで）。

電源の供給が中断された場合（バッテリー上がり等）、時計はリセットされ、自動的に再び ″0:00″ からカウントを始めます。

図 26

エンジンの過熱

この機能は、エンジン温度が異常な高温に達したことを表示します。警告はエンジン温度が 200° C を超えると作動します。

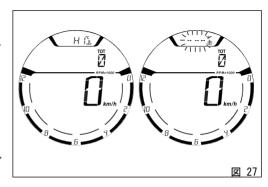
- "HI" の文字が点滅
- 温度マークと設定されている表示単位（° C または ° F）が点灯

参考

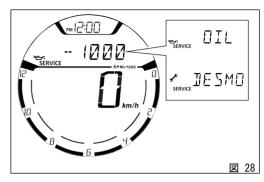
この警告が作動すると、エンジン温度データが 200° C 以下に戻るまでインストルメントパネルに時計は表示されません。

参考

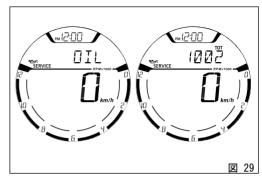
エンジン温度センサーにエラーが発生している場合、またはインストルメントパネルがエンジン温度データを受信できない場合は、点線 "- - -" が点滅表示されます。

図 27

メンテナンス表示（SERVICE）

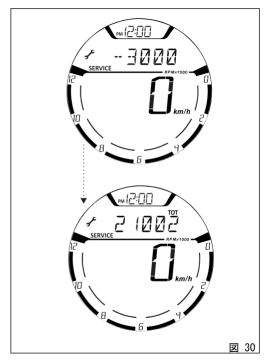
この表示は、Ducati 正規サービスセンターで車両のメンテナンス（定期点検）を実施する必要があることをユーザーに通知します。
メンテナンス表示のリセットは、メンテナンスを行う Ducati 正規サービスセンターでのみ行うことができます。

図 28

OIL SERVICE ゼロの表示

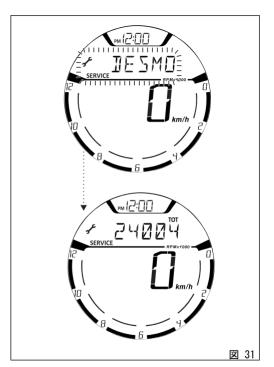
最初のメンテナンス表示は、OIL SERVICE ゼロを通知します。オドメーターが最初の 1000 km に達すると、Key-ON する度に 5 秒間表示されます。
メンテナンス表示は、"SERVICE" の文字、オイルマーク、"OIL" の文字を Key-ON の度に 5 秒間点滅表示します。5 秒後、"SERVICE" の文字、オイルマークは点灯に移行します。Key-OFF するまで、もしくは Ducati 正規サービスセンターでリセットされるまで点灯し続けます。

図 29

DESMO SERVICE カウントダウン表示

OIL SERVICE ゼロ（1000 km - 600 mi）表示の最初のリセットが行われた後、インストルメントパネルは次の定期点検（DESMO SERVICE）までの残りのキロ数（マイル数）のカウントを開始します。
Key-ON する度にキロ数カウントが 2 秒間表示され、定期点検までの走行距離が 1000 km（600 miles）を切ると、Key-ON 毎に 5 秒間表示されます。
Key-ON 時に次回の定期点検までの走行距離が表示され、"SERVICE" の文字とデスモマークが点灯します。

図 30

DESMO SERVICE 表示

メンテナンスを必要とする走行距離に達すると、必要なメンテナンスのタイプ（DESMO SERVICE）が表示されます。
メンテナンス表示は、"SERVICE" の文字、デスモマーク、"DESMO" の文字を Key-ON の度に 5 秒間点滅表示します。5 秒後、"SERVICE" の文字とデスモマークは点灯に移行します。Key-OFF するまで、もしくは Ducati 正規サービスセンターでリセットされるまで点灯し続けます。

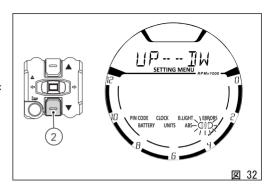
図 31

設定メニュー

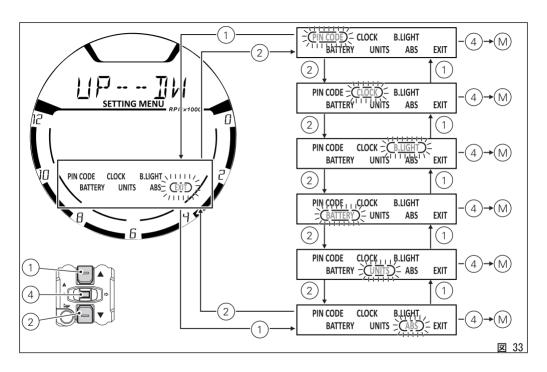
このメニューではいくつかの車両機能の ON/OFF および設定を行います。

設定メニュー に入るには、Key-ON の状態で車両実速度が 20 km/h 以下の時にボ タン (2) を 3 秒間押しま す。設定メニューの表示中は他の機能を表示することはできません。

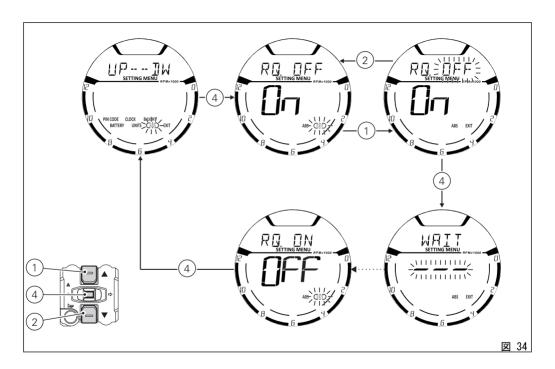
設定メニューには以下の機能が表示されます。

- PIN CODE (PIN CODE の起動および変更)
- CLOCK (Clock - 時計の調整)
- B.LIGHT (バックライト調整)
- BATTERY (バッテリー電圧表示)
- UNITS (表示単位の設定)
- ABS (ABS コントロールユニットの起動 - 解除)
- EXIT (設定メニューの終了)

図 32

安全上の理由から、車両速度が 20 Km/h 以下の時のみ設定メニューに入ることができます。このメニュー内にいる時に車両速度が 20 Km/h を超えると、インストルメントパネルは自動的にメイン画面に戻ります。
ボタン（1）および（2）を押すと、カスタマイズ可能なパラメーターを一つずつ強調表示することができます。ボタン（2）を押すと次のパラメーターが、ボタン（1）を押すと前のパラメーターが強調表示されます。
希望のパラメーターを強調表示した後、ボタン（4）を押すと、選択したパラメーターに対応するメニューページ（M）が開きます。
機能が装備されていない場合や一時的に解除されている場合は、メニューページにアクセスできません。
設定メニューを終了するには、"EXIT" を強調表示し、メニュー決定ボタン（4）を押します。

UP--DN
SETTING MENU
RPM x1000
PIN CODE
CLOCK
B.LIGHT
BATTERY
UNITS
ABS
EXIT
1
2
4
M
図 33

ABS コントロールユニットの起動 / 解除

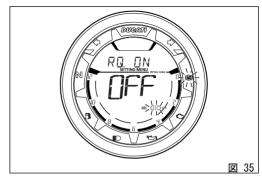
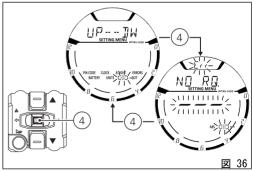
この機能は ABS システムの起動または解除を行います。設定メニューに入ります。
ボタン（1）または（2）を押して、カスタマイズするパラメーター（ABS）を選択します。希望のパラメーターが強調表示されたら、メニュー決定ボタン（4）を押します。
この機能に入ると、ABS システムの設定ステータスが表示されます。
On = 起動、Off = 解除
メニュー内には変更可能な選択（RQ）が表示されます。
RQ OFF（ステータスが "On" の時）、RQ ON（ステータスが "Off" の時）。
設定ステータスを変更せずにこの機能を終了するには、ボタン（2）を使用して "EXIT" を選択します。文字枠が点滅したらボタン（4）を押します。
設定ステータスを変更するには、ボタン（1）を押します。メニュー内の変更可能な選択（RQ）が点滅します。
ボタン（4）を 3 秒間押して選択を決定します。メニューには "WAIT" の文字が約 5 秒間表示されます。その後、新しいステータスが表示され、"EXIT" の枠が点滅します。
ボタン（4）を押して機能を終了します。

UP--DW
SETTING MENU
RPMx1000
PIN CODE
CLOCK
B.LIGHT
BATTERY
UNITS
ABS
EXIT
RQ. OFF
On
RQ. ON
OFF
WAIT
1
2
4
図 34

参考
"- "（OFF）を選択すると、ABS は解除され、ABS ランプが点滅します。

重要
ABS 機能の "OFF" を選択した場合は、運転やブレーキングに細心の注意を払うようにしてください。

ABS システムにエラーが発生している場合は、この機能に入るとディスプレイに "Err"、メニューに "NO RQ" の文字が表示され、ステータスの選択ができない状態であることを示します。"EXIT" の枠が点滅します。ボタン（4）を 3 秒間押して機能を終了します。

図 35

図 36

バッテリー電圧

ここでは車両のバッテリー電圧レベルを確認することができます。設定メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して "BATTERY" を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。"BATTERY" メニューに入ります。
ディスプレイには次のように表示されます。

- バッテリー電圧が 11.8 から 14.9 V の場合、固定表示されます。
- バッテリー電圧が 0.0 から 11.7 V の場合、データと "LOW" の文字が点滅します。
- バッテリー電圧が 15.0 から 25.5 V の場合、データと "HIGH" の文字が点滅します。

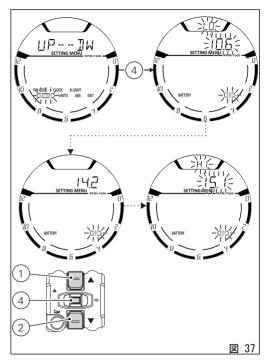
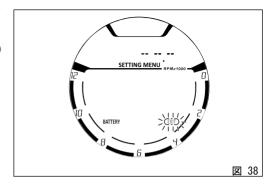
図 37

インストルメントパネルがバッテリー電圧値を受信しない場合は、点線 ″－ － －″ が表示されます。
メニューを終了して設定メニューの最初のページに戻るには、″EXIT″ の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。

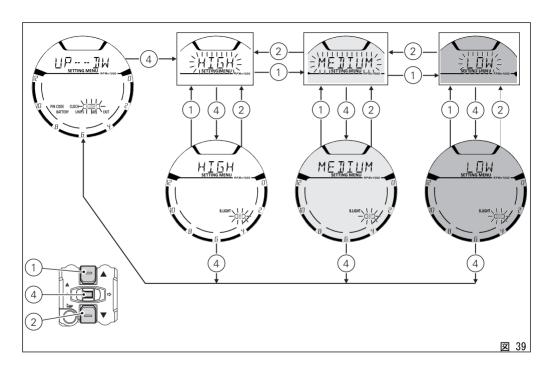
図 38

インストルメントパネルのバックライト調整 (B.LIGHT)

この機能では、ユーザーがバックライトの明るさを選択することができます。
バックライトの調整を行うには、まず設定メニューに入ります。ボタン (1) または (2) で "B.LIGHT" を選択し、ボタン (4) を押します。
機能に入ると、現在設定されているモードが点滅します。"MENU" と "EXIT" は表示されたままです。
ボタン (1) および (2) で希望の明るさ (HIGH、MED、LOW) を選択し、ボタン (4) を押して決定します。
HIGH 設定を選択すると、ディスプレイは 100% の明るさに設定されます。外光が強い時の使用に適します。
MED 設定を選択すると、ディスプレイは 70% の明るさに設定されます。外光が中程度/弱い時の使用に適します。
LOW 設定を選択すると、ディスプレイは 50% の明るさに設定されます。外光が非常に弱い時や暗闇での使用に適します。
設定を決定すると、自動的に "EXIT" の枠が点滅します。
メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT"の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。

参考

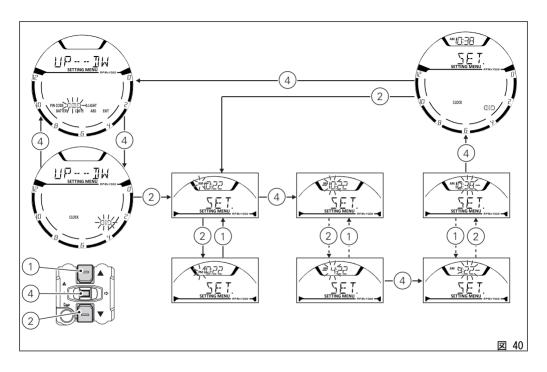
バッテリーが切り離された場合、電源回復後の Key-ON 時に画面の光調整はリセットされ、最大レベルに設定されます。

UP--DW
SETTING MENU
RPMx1000
PIN CODE
CLOCK
B.LIGHT
BATTERY
UNITS
ABS
EXIT
HIGH
MEDIUM
LOW
1
2
4

図 39

時計の調整機能（CLOCK）

この機能は時計の調整設定を行います。
この機能を表示するには、まず設定メニューに入ります。ボタン（1）または（2）で ”CLOCK” を表示し、ボタン（4）を押します。
調整するには、ボタン（2）を 3 秒間押します。
3 秒後、次のように時計を調整します。

- ”AM” が点滅します。
  - ボタン（2）を押すと、点滅が ”PM” に移ります。
  - ボタン（1）を押すと、ひとつ前のステップに戻ります（時間が 00:00 の場合は、AM から PM へ移ると 12:00 が表示されます）。
- ボタン(4)を押すと、時間表示が点滅し始め、時間の設定に入ります。
  - ボタン（2）を 1 回押すたびに、1 時間ずつ進みます。 ボタン（2）を長押しすると、1 秒ごとに 1 時間ずつ進みます（ボタンを押し続けている間、時間表示は点滅しません）。
- ボタン（4）を押すと、分が点滅し始め、分の設定に入ります。
  - ボタン（2）を 1 回押すたびに、1 分ずつ進みます。 ボタン（2）を長押しすると、1 秒ごとに 1 分ずつ進みます。
  - ボタン（2）を 5 秒以上押し続けると、100 ミリ秒 につき 1 ずつ数字が増加します（ボタン（2）を押している間、数字は点滅しません）。

UP--DW
SETTING MENU
RPMx1000
PIN CODE
CLOCK
B.LIGHT
BATTERY
UNITS
ABS
EXIT
SET.
AM
PM
10:22
4:22
9:22
10:38
図 40

新しい時間設定を決定（保存）する場合は、ボタン（4）を押します。
EXIT の枠が点滅します。ボタン（4）を押すと、設定メニューに戻ります。

参考

バッテリーからの電源供給が中断した場合、電源回復後の Key-ON 時に時計はリセットされ、自動的に 00:00 から再開します。

ボタン（4）を押して終了します。

PIN CODE

この機能は 4 桁の PIN CODE を設定/変更します。
PIN CODE は、イモビライザーシステムに不具合が生じた場合に車両を一時的に起動するために使用します。
PIN CODE は最初車両に登録されていませんので、ユーザーが 4 桁の PIN をインストルパネルに入力して有効にします。これを行わないと、不具合が生じた場合に一時起動することができません。起動するには "PIN CODE の入力" の手順に従います。
PIN を変更するには "PIN CODE の変更" の手順に従います。
イモビライザーシステムに不具合が生じた際に車両を一時的に起動するには、"車両のロック解除" の手順に従います。

警告
PIN CODE は車両の所有者が設定（登録）しなければなりません。PIN がすでに設定されている場合には、Ducati 正規ディーラーに本機能の "リセット" を依頼してください。その際 Ducati 正規ディーラーは、車両の所有者確認をさせていただくことがあります。

PIN CODE の入力

PIN CODE 機能を有効にし、PIN CODE を入力するには、設定メニューに入ります。
ボタン (1) または (2) を押して "PIN CODE" を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

参考
機能に入った時に "0 :" (OLD) が表示され、点線 "- - - -" が点滅する場合は、 PIN がすでに存在し、従ってこの機能が有効な状態であることを示します。

機能に入ると、ディスプレイに "N:"(NEW) が表示され、点線 "- - - -" が点滅します。
PIN CODE を有効にしないで前の画面に戻るには、ボタン (2) を押します。"EXIT" の枠が点滅した状態で再びボタン (4) を押します。
コードの入力 :

1) ボタン (4) を押すと、"0" で表示される 1 桁のみが点滅します。
2) ボタン (2) を押す度に数字が "9" までひとつずつ大きくなり、その後 "0" に戻ります。
3) ボタン (1) を押す度に数字が "1" までひとつずつ小さくなり、その後 "0" に戻ります。
4) ボタン (4) を押して数字を決定します。

この手順を繰り返し、PIN CODE の 4 桁すべての数字を決定します。

UP -- DW
SETTING MENU
RPMx1000
PIN CODE
CLOCK
B.LIGHT
BATTERY
UNITS
ABS
EXIT
N:-- -- -- --
SETTING MENU
PIN CODE
EXIT
N:0 -- -- --
N:00 -- --
N:030 --
N:0320
N:0321
4
2
1

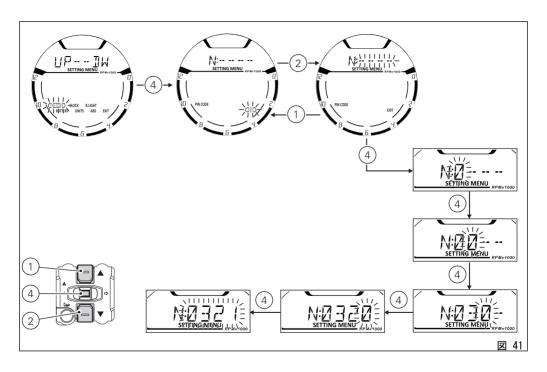
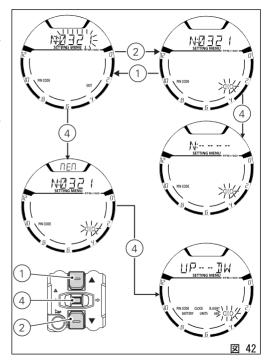
図 41

ボタン（4）を押して最後の桁を決定します。入力した 4 桁の数字が点滅します。
入力した PIN を保存するには、ボタン（4）を 3 秒間押します。
正常に保存されると "MEM" の文字が表示され、"EXIT" の枠が点滅します。
ボタン（4）を押して終了します。
最初の PIN CODE を設定して以降は、メニューから PIN CODE 登録ページに入ることができなくなり、代わりに PIN CODE の変更のページになります。

図 42

PIN CODE の変更

すでに登録されている PIN を変更し、新しい PIN を有効にするには、設定メニューに入ります。
ボタン（1）または（2）を押して″PIN CODE″を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン（4）を押します。

参考
機能に入った時に″N :″（NEW）が表示され、点線″- - - -″が点滅する場合は、PIN CODE が登録されたことがないことを示します。PIN CODE を登録してください。

機能に入ると、ディスプレイに″O:″（OLD）が表示され、点線″- - - -″が点滅します。

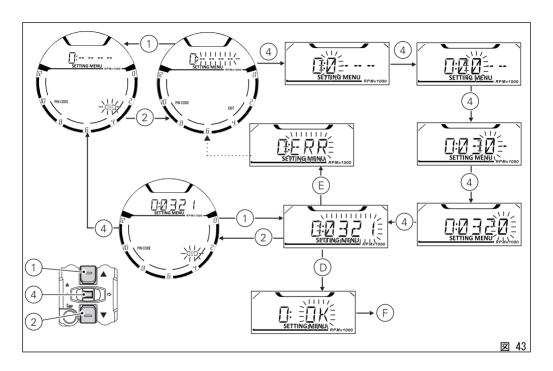
参考
PIN CODE を変更するには、現在設定されている PIN を知っている必要があります。

PIN CODE を変更せずに前の画面に戻るには、ボタン（2）を押します。″EXIT″の枠が点滅した状態で再びボタン（4）を押します。

古いコードの入力：

1） ボタン（4）を押すと、″0″で表示される 1 桁のみが点滅します。
2） ボタン（2）を押す度に数字が″9″までひとつずつ大きくなり、その後″0″に戻ります。
3） ボタン（1）を押す度に数字が″1″までひとつずつ小さくなり、その後″0″に戻ります。
4） ボタン（4）を押して数字を決定します。

この手順を繰り返し、PIN CODE の 4 桁すべての数字を決定します。

SETTING MENU
PIN CODE
EXIT
RPMx1000
0:ERR
0:0321
0:OK
1
2
4
E
D
F
図 43

ボタン（4）を押して最後の桁を決定すると、4 桁のコードは点滅を始めます。
ボタン（4）を押すと、入力した PIN が検証されます。ボタンを押すと次のようになります。

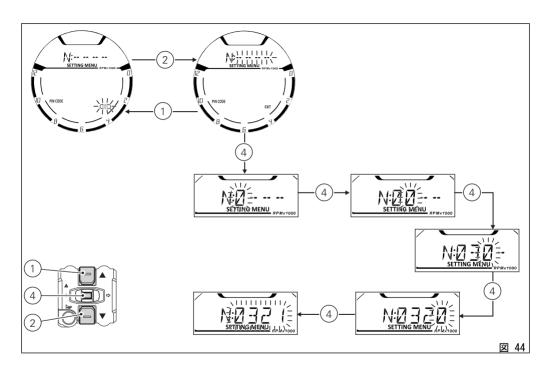
- PIN CODE が正しい場合（D）は、インストルメントパネルは ″OK″ を 3 秒間点滅表示します。その後、″ N:″（NEW）が表示され、新しい PIN CODE を入力する点線 ″- - - -″ が点滅します（F）。
- PIN CODE が正しくない場合（E）は、インストルメントパネルは ″ERR.″ を 3 秒間点滅表示します。その後、″O:″（OLD）が表示され、点線 ″- - - -″ が点滅します。もう一度 PIN を入力してください。

この手順を繰り返し、PIN CODE の 4 桁すべての数字を決定します。

新しいコードの入力：

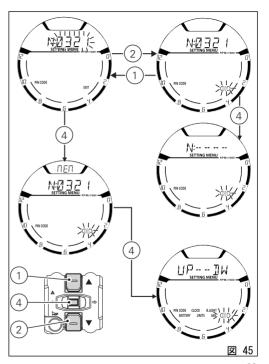
1） ボタン（4）を押すと、″0″ で表示される 1 桁のみが点滅します。
2） ボタン（2）を押す度に数字が ″9″ までひとつずつ大きくなり、その後 ″0″ に戻ります。
3） ボタン（1）を押す度に数字が ″1″ までひとつずつ小さくなり、その後 ″0″ に戻ります。
4） ボタン（4）を押して数字を決定します。

この手順を繰り返し、PIN CODE の 4 桁すべての数字を決定します。

N:-- -- -- --
SETTING MENU
RPMx1000
PIN CODE
EXIT
2
1
4
N:0
N:00
N:030
N:0320
N:0321
1
4
2
図 44

ボタン (4) を押して最後の桁を決定します。入力した 4 桁の数字が点滅します。
新しい設定を保存するには、ボタン (4) を 3 秒間押します。
正常に保存されると (D) ″MEM″ の文字が表示され、″EXIT″ が強調表示され文字枠が点滅します。
ボタン (4) を押して終了します。
保存に失敗した場合、インストルメントパネルは新しい PIN を入力する点線 ″- - - -″ を強調表示します。 もう一度新しい PIN CODE を入力してください。

参考

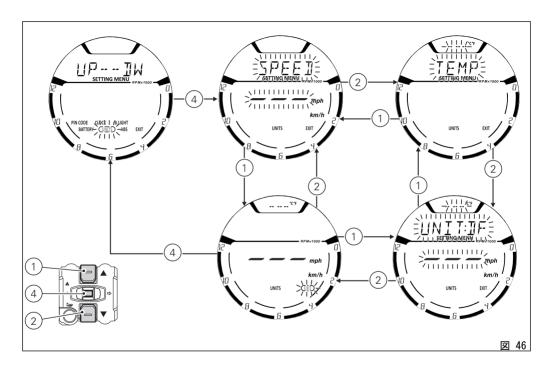
PIN CODE の変更は何度でも可能です。

図 45

単位の設定

この機能では表示単位の変更が可能です。
手動で単位の設定を行うには、設定メニューに入ります。
ボタン（1）または（2）を押して"UNITS"を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン（4）を押します。
この機能に入ると、ボタン（1）および（2）で単位を新しく設定したい測定項目、または自動設定回復を選択します。

- スピード（SPEED）
- 温度（TEMP.）
- 表示単位をデフォルト単位に回復（UNIT:DF）

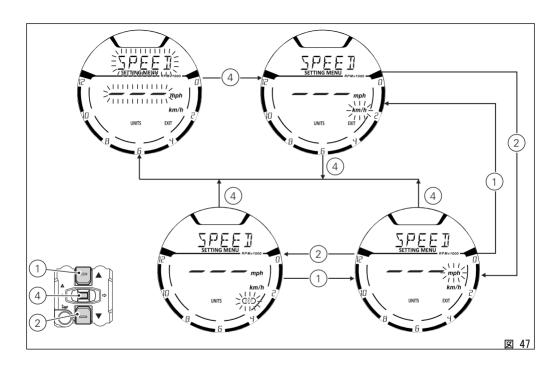
メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT"の文字を強調表示し、ボタン（4）を押します。

UP--DW
SETTING MENU
RPMx1000
PIN CODE
CLOCK
B.LIGHT
BATTERY
UNITS
ABS
EXIT
SPEED
mph
km/h
TEMP.
°C°F
UNIT:DF
1
2
4
図 46

単位の設定スピード

この機能では、車両スピード、オドメーター、TRIP 1、TRIP 2、TRIP FUEL（起動している場合）の表示単位を変更することができます。この機能に入るには、まず設定メニューに入ります。ボタン（1）または（2）で"UNTS"を選択し、ボタン（4）を押します。ボタン（1）または（2）を押して"SPEED"を選択します。
"SPEED"機能が強調表示されたら、メニュー決定ボン（4）を押します。機能に入ると、単位（mph、km/h）が表示されています。現在設定されている表示単位が点滅し、変更できる単位が固定表示されます。
ボタン（1）および（2）を押すと、希望の単位を強調表示することができます。ボタン（1）を押すと次の単位が、ボタン（2）を押すと前の単位が強調表示されます。希望の単位を選択したら、メニュー決定ボタン（4）を押します。選択した単位はインストルメントパネルから保存され、"SPEED"の文字が再び点滅します。

ボタン（2）を押すと"EXIT"の枠が点滅します。終了するにはボタン（4）を押して前の画面に戻ります。

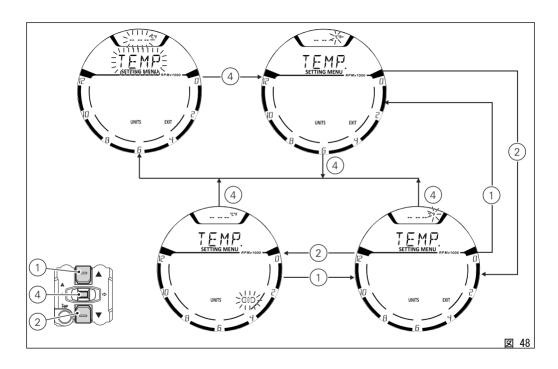
- Km/h：この設定を選択すると、以下の項目がこの単位を使用します。
  1） TOT、TRIP 1、TRIP 2、TRIP FUEL：Km
  2） 車両スピード：Km/h
- mph：この設定を選択すると、以下の項目がこの単位を使用します。
  1） TOT、TRIP 1、TRIP 2、TRIP FUEL： マイル
  2） 車両スピード：mph

SPEED
SETTING MENU
RPM×1000
mph
km/h
UNITS
EXIT
図 47

単位の設定温度

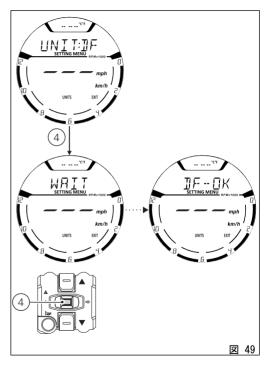
この機能では外気温度の表示単位を変更することができます。
この機能に入るには、まず設定メニューに入ります。ボタン（1）または（2）で"UNTS"を選択し、ボタン（4）を押します。
ボタン（1）または（2）を押して"TEMP."を選択します。
"TEMP"機能が強調表示されたら、メニュー決定ボン（4）を押します。
機能に入ると、単位（°C、°F）が表示されています。現在設定されている表示単位が点滅し、変更できる単位が固定表示されます。
ボタン（1）および（2）を押すと、希望の単位を強調表示することができます。ボタン（1）を押すと次の単位が、ボタン（2）を押すと前の単位が強調表示されます。希望の単位を選択したら、メニュー決定ボタン（4）を押します。選択した単位は保存され、"TEMP."の文字が再び点滅します。

ボタン（2）を押すと"EXIT"の枠が点滅します。終了するにはボタン（4）を押して前の画面に戻ります。

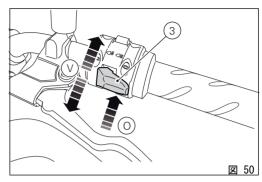
- °C：この設定を選択すると、以下の項目がこの単位を使用します。
  1）T－AIR：°C
- °F：この設定を選択すると、以下の項目がこの単位を使用します。
  1）T－AIR：°F

図 48

デフォルト（DEFAULT）設定

この機能では車両バージョンの"DEFAULT"の単位に設定することができます。
この機能に入るには、まず設定メニューに入ります。ボタン（1）または（2）で "UNTS" を選択し、ボタン（4）を押します。ボタン（1）またはボタン（2）を使用して "UNIT:DF" の文字を点滅させ、ボタン（4）を 3 秒間押します。
3 秒後、インストルメントパネルは "WAIT" を 2 秒間表示します。その後、単位がデフォルト設定に回復されたことを示す "DF-OK" が表示されます。

図 49

ランプコントロール
ロービーム/ハイビームランプ

ヘッドランプの点灯および消灯を調整し、バッテリーの消費量を抑えます。
Key-ON 時、ハイビームライトおよびロービームライトは OFF の状態です。
エンジンを起動すると、自動的にロービームライトが点灯します。これ以降、通常機能で作動します。
ボタン（3）を（V）位置に押すとロービームライトとハイビームが切り替わります。ボタン（3）を（O）位置に押すとフラッシュになります。Key-ON した後にエンジンを始動させない場合でも、左側スイッチでロービーム/ハイビームライトを点灯することができます（ボタン（3）を（V）位置に押す）。

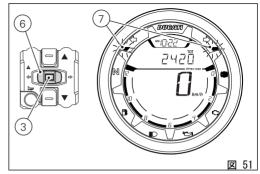
図 50

ボタンを 1 回押すとロービームライトが点灯します。この後は、同じボタンを押してハイビームライトをつけたり消したりすることができます。60 秒以内にエンジンが始動されない場合は、点灯しているロービームまたはハイビームは消灯します (OFF)。
上記の手順でエンジンを始動する前にヘッドライトを点灯した場合、エンジン始動時にヘッドライドは自動的に一旦消灯し、エンジンが完全に始動した時点で再び点灯します。

ターンインジケーター

インストルメントパネルはターンインジケーターの自動リターンを制御します。
2 つのうち、どちらかのターンインジケーターを点けた後、左側スイッチにあるボタン (3、 図 50) で解除することができます。
ターンインジケーターコマンドの手動解除が行われなかった場合、起動してから 500 m (0.3マイル) 走行すると、インストルメントパネルは自動的にターンインジケーターを停止します。自動解除の際、走行距離のカウントは 80 km/h (50 mph) 以下でのみ行なわれます。
自動解除の走行距離カウントがスタートしてから速度が 80 km/h (50 mph) を上回った場合、カウントは中断されます。その後、前述の速度を下回るとカウントが再開されます。

ハザード機能（ターンインジケーターすべて点滅）

″ハザード″機能は、非常事態を知らせるために 4 つのターンインジケーターすべてを同時に起動します。ボタン（3）をポジション（6）に 3 秒間押すと、″ハザード″機能が起動します。車両が起動している場合にのみ、この機能を起動することができます（エンジンの起動/停止状態に関係なく、キーが ″ON″ の位置にある時）。″ハザード″機能の作動中は、4 つのターンインジケーターおよびインストルメントパネルの警告灯（7）が同時に点滅します。車両が起動している場合（キーが ″ON″ の位置にある時）は、ボタン（3）をポジション（6）に押すか、あるいはボタン（3）をセンター位置に押すと ″ハザード″機能を解除することができます。車両が停止している場合（キーが ″OFF″ の位置にある時）は、ボタン（3）をポジション（6）に押して解除します。

図 51

″ハザード″機能を起動している状態で車両を停止（キーが ″OFF″ の位置）すると、ユーザーが手動で解除するまで点灯し続けます。ただし、点灯した状態で 120 分（2 時間）が経過すると、バッテリー充電状態を維持するために自動的に消灯します。

イモビライザーシステム

盗難防止機能を高めるため、車両にはエンジンをブロックする電子システム（イモビライザー）が装備されており、インストルメントパネルを消す度に自動的に起動します。
各キーには電子装置が内蔵されており、スイッチ内に組み込まれた特殊アンテナが起動時に発する信号を変調します。
変調された信号は起動毎に異なる〞パスワード〞から構成され、これによりコントロールユニットはキーを識別します。正常に識別された場合のみエンジンを始動させることができます。

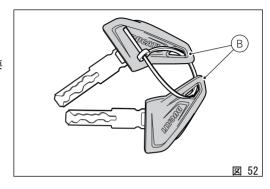
キー

車両には 2 個のキーが付属しています。
キーには "イモビライザーシステムの暗号" が含まれています。
キー (B) を通常に使用する際は、以下の操作に必要です。

- 起動
- フィラープラグの開閉
- シートロックの解除。

警告

キーは別々に保管し、車両を使用する際は 2 本のキーのどちらか一方を使用してください。

図 52

動作

キースイッチを ON から OFF に回す度にプロテクションシステムのエンジンブロックが起動します。
それでもなおエンジンを始動できない場合には、Ducati アシスタンスネットワークにお問い合わせください。

警告

強い衝撃を受けるとキー内部の電子部品が破損するおそれがあります。作業中は常に同じキーを使用してください。異なるキーを使用した場合、挿入したキーの暗号をシステムが識別できない場合があります。

キーの複製

追加のキーが必要な場合は、Ducati アシスタンスネットワークにご連絡ください。その際、お手持ちのすべてのキーをお持ちいただく必要があります。
Ducati アシスタンスネットワークでは新しいキーとお手持ちのキーすべての登録を行います。
Ducati アシスタンスネットワークではお客様に車両の所有者確認をさせていただく場合があります。
登録作業中に提示されなかったキーの暗号はメモリーから削除されます。これは、紛失したキーでエンジンを始動できなくするためです。

参考

車両の所有者を変更した場合は、必ず新規所有者にすべてのキーを譲渡してください。

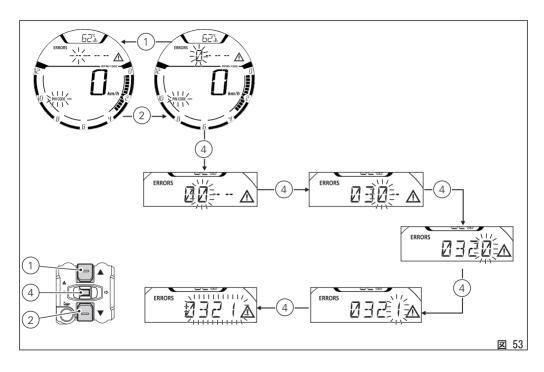
車両解除のための PIN CODE 入力機能

キー認識システムの不具合、またはキーの不具合の場合、車両ブロックの一時解除のため PIN CODE の入力ができるようになります。
KEY-ON 時にイモビライザーエラーが検出されると、インストルメントパネルはメニュー 1 に 4 桁の PIN CODE 入力画面を自動的に表示します。PIN CODE は設定メニューの PIN 設定ページから、あらかじめ設定してある必要があります。

コードの入力 (A):

1) ボタン (1) または (2) を押すと、"0" で表示される 1 桁のみが点滅します。
2) ボタン (2) を押す度に数字が "9" までひとつずつ大きくなり、その後 "0" に戻ります。
3) ボタン (1) を押す度に数字が "1" までひとつずつ小さくなり、その後 "0" に戻ります。
4) ボタン (4) を押して数字を決定します。

この手順を繰り返し、PIN CODE の 4 桁すべての数字を決定します。

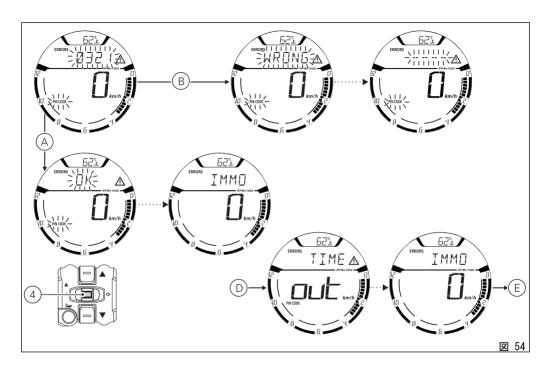
図 53

ボタン (4) を押して 4 桁すべての数字を決定した後、

- PIN CODE が正しい場合 (A)、インストルメントパネルは "OK" を 2 秒間表示します。その後、画面がスタンダードスクリーンに戻ると、車両を起動することができます (C)。
- PIN CODE が正しくない場合 (B)、インストルメントパネルは "WRONG" を 2 秒間表示し、その後、再び点線 "- - - -" を強調表示します。もう一度 PIN CODE を入力してください。入力回数には制限はありませんが、入力可能時間は 2 分間に設定されています (D)。入力可能時間を過ぎると、インストルメントパネルの画面がスタンダードスクリーンに戻り、車両を起動することはできません (E)。

重要
車両を起動するために上記のプロセスを踏まなければならない時は、早めに Ducati 正規サービスセンターにご連絡ください。

参考
車両を停止 (Key-OFF) しない限り、起動することができます。次の起動時に問題がまだ解消されていない場合、車両を一時的に起動するにはこの手順を最初から繰り返す必要があります。

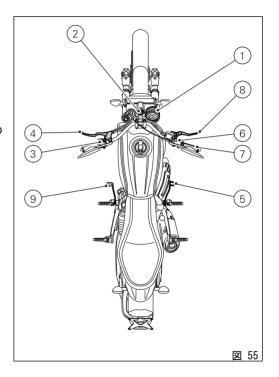
62°C
ERRORS
0321
RPMx1000
0
km/h
PIN CODE
B
WRONG
A
OK
IMMO
4
TIME
out
D
E

図 54

運転時に必要なコマンド

コマンド類の配置

警告
この章では車両を運転する上で必要なすべてのコマンド機能と配置を詳しく説明しています。コマンドを使用する前によくお読みください。

1) インストルメントパネル
2) イグニッションスイッチ / ステアリングロック
3) 左側スイッチ
4) クラッチレバー
5) リアブレーキペダル
6) 右側スイッチ
7) スロットルグリップ
8) フロントブレーキレバー
9) ギアチェンジペダル

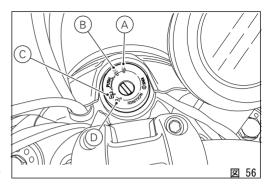
図 55

イグニッションスイッチ / ステアリングロック

燃料タンクの前にあり、4 つのポジションがあります。

A)　：エンジンおよびランプを ON にする
B)　：エンジンおよびランプを OFF にする
C)　：ステアリングロック状態
D)　：パーキングランプおよびステアリングロック

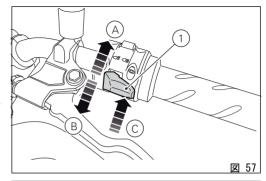
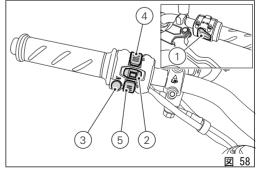
参考

キーを上記の (C) および (D) の位置に合わせるには、キーを押してから回してください。(B)、(C)、(D) の位置でキーを引き抜くことができます。

図 56

ハンドルバー左側スイッチ

1) ディマースイッチ、ビームの選択、2 ポジション：
ポジション 　= ロービームランプ点灯 (A)
ポジション 　= ハイビームランプ点灯 (B)
ボタン 　= フラッシャー (FLASH) およびインストルメントパネルコントロール (C)。
2) ボタン ⇔ = 3 ポジション、ターンインジケーターボタン：
中央 ＝ OFF
ポジション ⇦ = 左折
ポジション ⇨ = 右折
ターンインジケーターを解除するには、中央に戻ってからコントロールレバーを押します。
3) ボタン 　= 警告ホーン
4) インストルメントパネルコントロールボタン、ポジション〃▲〃
5) インストルメントパネルコントロールボタン、ポジション〃▼〃

図 57

図 58

クラッチレバー

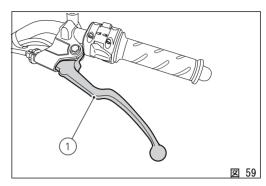
レバー（1）でクラッチの接続を操作します。レバー（1）を操作すると、エンジンの回転がトランスミッションおよび駆動輪に伝わらなくなります。クラッチの適切な操作は、スムーズなライディング、特に発進時に重要です。

重要

クラッチレバーを正しく操作することで、トランスミッションの損傷を避け、エンジンの寿命を延ばすことができます。

参考

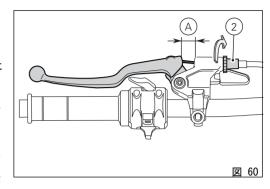
サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラルの状態でエンジンを始動することができます。ギアが入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いた状態で行ってください（この時サイドスタンドは上がっていなければなりません）。

図 59

クラッチコントロールの遊びの調整

警告

調整を誤るとクラッチの機能およびその寿命に重大な影響を与えるおそれがあります。

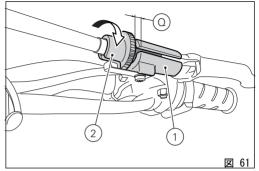
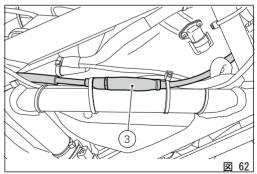
クラッチは磨耗すると、クラッチケーブルが張る傾向にあります。
車両を使用する前に毎回遊びを点検してください。
点検はエンジンが冷えた状態でおこないます。
クラッチレバーを操作したとき、抵抗力が非常に小さい状態から大きい状態になります（作動力）。
抵抗力が非常に小さい場所に相当するストロークがレバーの遊びです。
レバーの遊びは、距離 ″A″ が 3 ～ 4 mmとなるように調整します。
遊びを推奨値に調整するには、遊びがないことを確認します。クラッチコントロール近くのメインアジャスター（2）を操作します。

図 60

レバーのアジャスター（2）により、最大 11 mm、標準 5 mm（初期設定）に調整（Q）することができます。このアジャスターでは不十分な場合、セカンダリーアジャスター（3）を操作します。

警告

磨耗によるクラッチのすべりがある場合は、上記のようにレバーのアジャスター（2）を絶対に緩めないでください。この場合はアジャスターを締めてください。
すべりが続く場合は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。

図 61

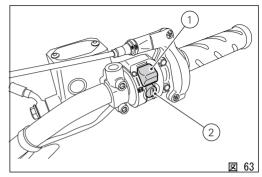
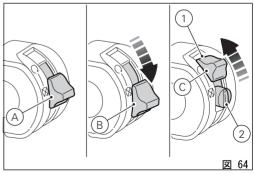
図 62

ハンドルバー右側スイッチ

1) 赤スイッチ　ON/OFF
2) 黒ボタン　エンジン始動

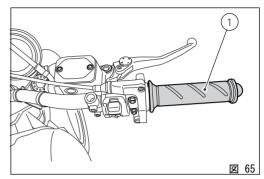
スイッチ (1) には 3 つのポジションがあります。

A) 中央 : RUN OFFこのポジションでのエンジン起動は不可、すべてのエレクトロニックデバイスは停止します。
B) 下に押した場合 : ON/OFFこのポジションでシステムの起動 (KEY-ON) と停止 (KEY-OFF) が可能です。
C) 上に押した場合 : RUN ONこのポジションでのみ、黒ボタン (2) を押しながらエンジンの起動が可能です。

図 63

図 64

スロットルグリップ

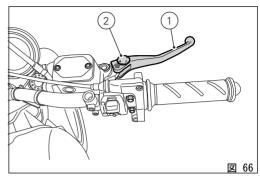
ハンドルバー右側のスロットルグリップ（1）は、スロットルボディのバルブ開閉を制御します。グリップを離すと、自動的に元の位置（アイドリング状態）に戻ります。

図 65

フロントブレーキレバー

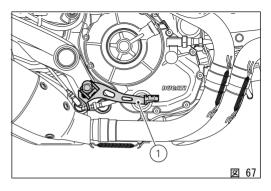
レバー（1）をスロットルグリップの方向へ引くと、フロントブレーキがかかります。このレバーは油圧で作動するため、軽く握るだけで作動します。この機種には調整用つまみ(2)が搭載されているため、レバーとグリップとの間隔が調整できます。調整を行うには、レバー(1)を完全にゆるめ、つまみ(2)を4つのポジションのひとつに合わせて回します。ポジションn°　1ではレバーとグリップ間の距離が最大になり、ポジションn°　4では距離が最小になります。

警告

フロントブレーキレバーの調整は停車時に行ってください。

図 66

リアブレーキペダル

リアブレーキ（1）をかけるには、ペダルを足で下に押してください。
制御システムは油圧式です。

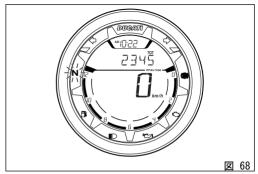
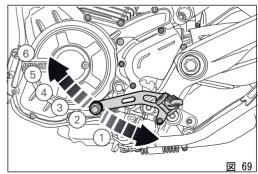
図 67

ギアチェンジペダル

ギアチェンジペダルは中央のニュートラルポジション N に自動的に戻ります。 ニュートラルポジションであることはインストルメントパネルのランプ N で表示されます。
ペダルは次のように動かせます。

- 下へ＝シフトダウンおよび 1 速へのチェンジは、ペダルを下に押します。この時、インストルメントパネルのランプ N が消えます。
- 上へ＝ペダルを上へ上げることで、2 速から順次 3 、4 、5 、6 速へとチェンジします。

一回の操作が一速分のチェンジに相当します。

図 68

図 69

ギアチェンジペダルとリアブレーキペダルの調整

ギアチェンジペダルとリアブレーキペダルのポジションは、ライダーのライディングスタイルとフットペグの位置に合わせて調整することができます。
これらの調整は以下の手順で行ってください。

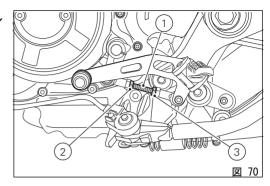
ギアチェンジペダル

ロッド（1）を固定しながら、ロックナット（2）と（3）を緩めます。

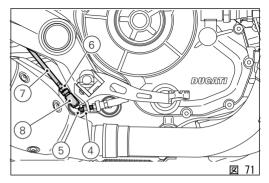
参考

ナット（2）は、逆ネジになっています。

ギアチェンジペダルを好みの位置に定めながら、スパナでロッド（1）の六角部分を回します。ロッドに両ロックナットを締め付けます。

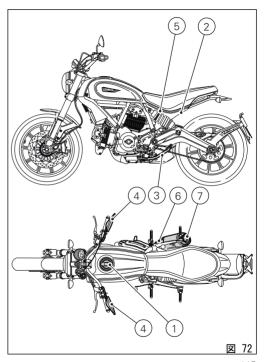
図 70

リアブレーキペダル

ナット（4）を緩めます。
ペダルが好みの位置になるまで、調整スクリュー（5）を回します。ロックナット（4）を締め付けます。
ペダルを手で押しながら、ブレーキがかかり始めるまでに約 1.5～2 mm の遊びがあるかを確認します。
上記のような遊びが確認できない場合は、以下の記載に従いマスターシリンダーのロッドの長さを調整します。
マスターシリンダーのロッドのロックナット（6）を緩めます。
ロッド（7）をフォーク（8）に締め込むと遊びが増加し、緩めると遊びが減少します。
ロックナット（6）を締め付け、再度遊びを点検します。

図 71

主要構成部品 / 装備

車両上の配置

1) フィラープラグ
2) シートロック
3) サイドスタンド
4) リアビューミラー
5) リアショックアブソーバーアジャスター
6) 触媒
7) エキゾーストサイレンサー

図 72

燃料フィラープラグ
開け方

鍵穴にキーを挿入します。
キーを時計回りに 1/4 回転させ、ロックを解除します。
プラグ（1）を外します。

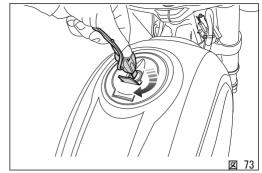
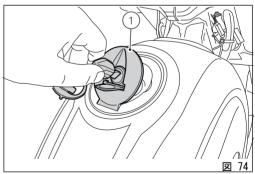
閉じ方

キーを挿入してプラグ（1）を閉じ、プラグを押します。
キーを反時計回りに元の位置まで回し、抜き取ります。

図 73

参考
キーが挿入された状態でのみキャップを閉めることが可能です。

図 74

警告
燃料補給後は、必ずキャップが確実に閉じていることを確認してください。

シートロック

開け方

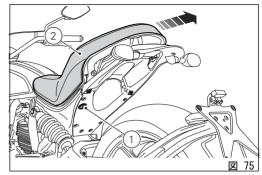
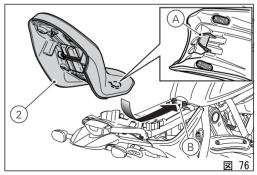
キー（1）を鍵穴に差し込み、時計方向に回します。同時にラッチ付近を下に押してピンを外します。
シート（2）を後ろに引っ張りながらフロントリテーナーから抜き取ります。

閉じ方

すべての部品がシート下に正しく配置され、固定されていることを確認します。
シート底部の前端部（A）をフレームマウントの取り付け位置（B）の下に挿入します。

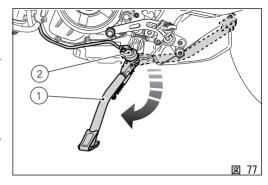
カチッと音がしてロックされるまでシート（2）の最後部を押します。
シートがフレームにしっかりと固定されたことを確認し、鍵穴からキー（1）を抜きます。

図 75

図 76

サイドスタンド

重要
短時間停車する場合に限り、サイドスタンドを使用して車両を支えます。サイドスタンドを使用する前に、地面に十分な固さがあり平らであるかを確かめてください。

柔らかい地面、砂利、日光で柔らかくなったアスファルト等に駐車すると、車両転倒の原因となります。傾斜面に停車する場合は、必ずリアホイールを斜面下側にして駐車してください。
サイドスタンドを使用するには、ハンドルバーを両手で掴み、車体を支えながら、スタンドのフック（1）を足でいっぱいに押します。次に、スタンドがしっかりと地面に着くまで、車体を徐々に傾けます。
サイドスタンドを元の位置 （水平位置） に戻すには、車両を右側に傾けながら、足でスタンドのアーム（1）を持ち上げます。

図 77

警告
サイドスタンド使用時には、車両にまたがらないでください。

参考
定期的にスタンド（内側と外側 2 つのスプリングの状態）と安全センサー（2）の作動を点検することをお勧めします。

USB 接続

モーターサイクルには 5V USB コネクターが装備されています。USB コネクターは最大 1 A の電流をサポートします。

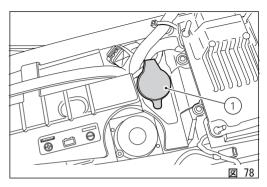
USB コネクター (1) はシート下に位置し、カバーで保護されています。カバーを持ち上げてコネクターを使用します。

重要

Key-ON 状態でエンジンを停止している時は、車両のバッテリーが上がるおそれがありますので、長時間装置を USB コネクターに接続したままにしないでください。

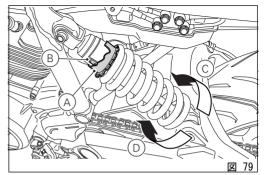
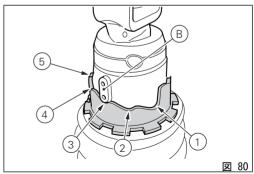
警告

保護キャップがない状態の USB コネクターには防水機能はありません。雨天時は USB コネクターにデバイスを接続しないようにしてください。

図 78

リアショックアブソーバーの調整

リアショックアブソーバーは荷重に合わせてバランスを調整できるようアジャスターを装備しています。ショックアブソーバー上部にあるリングナット (A) でスプリングプリロードを調整します。
プリロードを調整するには、車両に付属のレンチを使用してリングナット (A) を回し、リングナットの溝を基準位置 (B) に合わせます。リングナットに設けられた 5 つの溝 (1、2、3、4、5) は、各溝がそれぞれプリロード値の設定位置に相当します。反時計方向 (C) に回すとプリロードが増大し、時計方向 (D) に回すとプリロードが減少します。
標準設定位置は、ショックアブソーバー側の基準位置 (B) をリングナットの 3 番目の溝に設定した位置になります。

図 79

図 80

警告

プリロードアジャスターを回すには、ツールキットに付属のレンチを使用します。作動中にリングナットのすき間にレンチのソケット部分が急に落ちた場合に車両の他の部品に手を強くぶつけてケガをしないよう十分注意してください。

警告

ショックアブソーバーには高圧のガスが充填されています。未経験者による分解作業は重大な損傷の原因となる恐れがあります。

パッセンジャーと荷物を載せる場合は、リアショックアブソーバーのスプリングププリロードを最大に調整してください。これによりハンドリングを向上し、車両が地面に接触するのを防ぎます。

運転のしかた

慣らし運転の方法

エンジン最高許容回転数

慣らし運転期間中および通常使用においてのエンジン最高許容回転数：
1） 1,000 kmまで
2） 1,000 km～2,500 kmまで

1,000 kmまで

最初の 1,000 km まではタコメーターに注意し、5,500～6,000 rpm を決して超えないようにしてください。
最初の数時間は、規定回転数の範囲内でエンジン負荷と回転数を色々変えて走行することをお勧めします。
エンジン、ブレーキ、サスペンションのより効果的な慣らしには、カーブが多く起伏に富んだ場所を走行することが理想的です。
最初の 100 km は、ブレーキディスクにパッドをよく慣らすために、優しくブレーキをかけ、急なブレーキングや長いブレーキングは避けてください。
すべての機械部分を互いに馴染ませるため、またエンジンの主要部分の寿命に悪影響を及ぼさないために、急な加速や、特に上り坂での長時間にわたるエンジン高回転は避けてください。
定期的にチェーンを点検し、必要であれば潤滑してください。

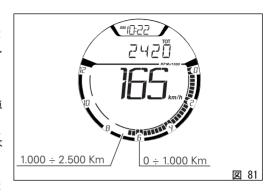
1,000 km～2,500 kmまで

1,000 km～ 2,500 km までは、エンジンからよりパワーを引き出すことは可能ですが、7,000rpm を決して超えないようにしてください。

図 81

重要

慣らし運転期間は、保証書に指定されている点検、整備を必ず受けてください。この条件が遵守されなかった結果としてのエンジンの損傷や寿命の短縮については、Ducati モーターホールディング社はいかなる責任も負うものではありません。

慣らし運転の方法を守ることでエンジンの寿命を延ばし、調整やオーバーホールの回数を抑えることができます。

走行前の点検事項

警告
走行前にこれらの点検を怠ると、車両に損傷を与え、ライダーやパッセンジャーを危険に晒すおそれがあります。

走行前に以下の点検を実施してください。

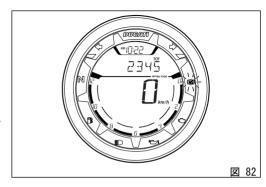
- タンク内の燃料量
  タンク内の燃料の残量を確認します。必要であれば給油してください（ページ 134）。
- エンジンオイル量
  クランクケースの点検窓でオイルレベルを確認します。必要に応じて充填してください（ページ 157）。
- ブレーキフルード
  各リザーバータンクのフルードレベルを確認します（ページ 136）。
- タイヤコンディション
  空気圧と摩耗度を点検します（ページ 155）。
- コマンド機能
  ブレーキ、クラッチ、スロットルグリップ、ギアチェンジレバーまたはペダルを作動させて機能を確認します。
- ランプ類、インジケーター
  ランプ、インジケーター、警告ホーンが正しく機能するかを確認します。電球が切れている場合には交換してください（ページ 91）。
- ロック類
  フィラープラグ（ページ 116）およびシート（ページ 117）のロックを確認します。
- スタンド
  サイドスタンドがスムーズに作動し、適切な位置にあるかを確認します（ページ 118）。

ABS ランプ

Key-ON 後も ABS ランプは点灯し続けます。
走行速度が 5 km/h を越えた時点でランプが消灯する場合は、ABS システムが正常に作動していることを示します。

警告

異常が見つかった場合は車両の使用を中止し、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

図 82

ABS 装置

フロントフォニックホイール (1) とリアフォニックホイール (2) が汚れていないことを確認します。

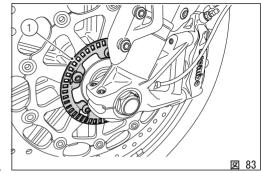
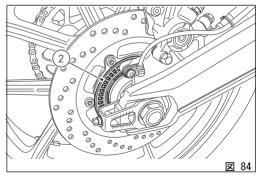
警告

汚れなどが付着して読み取り窓が詰まっていると、システムが正常に機能しないおそれがあります。泥道を走行する時には ABS システムがうまく機能しない場合があります。システムを OFF にしておくことをお勧めします。

警告

ウィリー走行を長く続けると、ABS システムが停止してしまうおそれがあります。

図 83

図 84

エンジンの始動

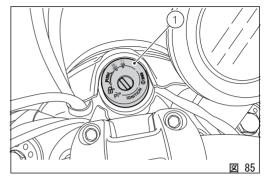
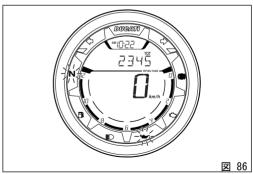
警告
エンジンを始動する前に、運転に必要なコマンド類の取り扱いに十分慣れておいてください。

警告
屋内では絶対にエンジンをかけないでください。排出ガスは有毒です。短時間で意識を失ったり、さらには死に至る危険性があります。

イグニッションキーを（1、 図 85）の位置に回します。インストルメントパネルの緑のランプ N と赤のランプ が点灯していることを確認してください。

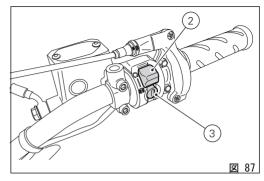
重要
オイル圧警告ランプはエンジンを始動してから数秒後に消えなければなりません。

図 85

図 86

警告
サイドスタンドが完全に上げられて（水平）いない場合は、安全センサーが作動してエンジンを始動することはできません。

参考
サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラルの状態でエンジンを始動させることができます。または、ギアが入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いたままの状態で始動させてください(この時サイドスタンドは上がっていなければなりません)。

エンジンストップスイッチ（2、 図 87）が ○ (RUN) の位置になっていることを確認してから、スタートボタン（3、 図 87）を押します。
スロットルコントロールを操作せず、車両が自然に起動するまで待ちます。

図 87

参考
バッテリーが上がっている場合、システムは自動的にスターターモーターの起動を停止します。

重要
エンジン冷間時は回転数を上げすぎないでください。潤滑が必要なすべての部分にオイルを行き渡らせるために、エンジンが温まるまで待ってください。

車両の発進

1) クラッチレバーを引いてクラッチを切ります。
2) ギアチェンジペダルをつま先でしっかりと押し下げてギアを 1 速に入れます。
3) スロットルグリップを回してエンジンの回転数を上げ、同時にクラッチレバーを徐々に放していくと、車両は発進し始めます。
4) クラッチレバーを完全に放し、エンジンの回転数を上げます。
5) シフトアップするには、スロットルを戻してエンジン回転を落とします。クラッチを切り、ギアチェンジペダルを上げ、クラッチをつなぎます。

シフトダウンは次のように行います。スロットルグリップを放し、クラッチレバーを引いてから、ギアを同調させやすくするためにエンジンを軽くふかしてシフトダウンし、クラッチレバーを放します。
これらの操作は適切に素早く行ってください。上り坂を走行する際には、車速が落ちてきたら直ちにシフトダウンし、車両への異常なストレスやエンジンのノッキングを避けてください。

警告
急な加速操作は、オーバーフローやトランスミッション機構のスナッチングを招くおそれがありますので避けてください。走行中にクラッチレバーを引いた状態が続くと、摩擦機構の過熱や異常な摩耗を引き起こすおそれがありますので避けてください。

警告
ウィリー走行を長く続けると、ABS システムが停止してしまうおそれがあります。

ブレーキ操作
時間に余裕を持って減速し、シフトダウンしてエンジンブレーキを使用し、両方のブレーキを操作してブレーキをかけます。車両が停止する前にクラッチを握り、エンジンが急に切れないようにします。

ABS システム
困難な条件下でのブレーキ操作は、非常に慎重に行わなければなりません。ブレーキ操作は二輪車の運転で最も難しく危険な瞬間です。ブレーキ操作中に転んだり事故を起こす可能性が統計的に最も高くなっています。フロントホイールがロックされると、グリップによるバランス力を失うため車両のコントロールを失います。
アンチロックブレーキシステム（ABS）は、緊急時や悪路、悪天候下での走行時にブレーキ性能を最も効果的に発揮させるために開発されたものです。
ABS は電子制御油圧システムです。ホイールがロックしそうになると、ホイールのセンサーからコントロールユニットに信号が送られ、ブレーキ回路内の油圧を制御します。
一時的に油圧が下がることで、タイヤは理想的なグリップを維持したまま回転を続けることができます。コントロールユニットはブレーキ回路内の油圧を再び上げてブレーキを作動させます。ホイールロックのリスクが完全になくなるまでこのサイクルを繰り返します。
ブレーキング時 ABS が作動状態に入ると、ブレーキレバーとブレーキペダルに軽く振動する抵抗が感じられます。
フロントとリアブレーキのコントロールシステムはそれぞれ独立していますので、ABS もフロントとリアブレーキに同時に作動するわけではありません。
このシステムを解除したい場合は、"ABS コントロールユニットの起動 / 解除" 機能（参照ページ 65）を使用してインストルメントパネルから解除することができます。

警告

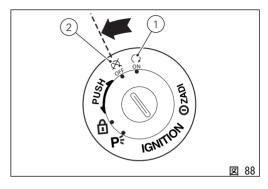
ABS システムが解除された状態では、車両のブレーキシステムは標準的なブレーキとして機能します。このため、2 つのブレーキコマンドのうち片方だけを使用した場合、車両のブレーキ性能は低下します。急激に過度の力を掛けてブレーキコマンドを操作しないでください。ホイールがロックし、車両のコントロールを失うおそれがあります。雨天時や滑りやすい路面の走行ではブレーキ力が著しく低下します。このようなコンディションでは慎重に優しくブレーキ操作をしてください。急ブレーキを掛けると車両のコントロールを失う危険があります。長く急な下り坂を走行する際にはシフトダウンしてエンジンブレーキを使用し、ブレーキは短く断続的に使用するようにしてください。ブレーキを長時間連続して使用すると、ブレーキパッドの過熱を招き、ブレーキ性能の著しい低下の原因となります。規定空気圧に満たないタイヤでの走行はブレーキ性能を低下させるだけでなく、正確な運転とカーブでの安定性を損ないます。

車両の停止

スロットルグリップを緩めると、車両は徐々にスピードを落とし始めます。
シフトダウンしながら 1 速まで落とし、最後にニュートラルに入れます。
ブレーキをかけると、車両を完全に停止することができます。
エンジンを停止するには、キーを（2）の位置に回します。

重要

エレクトリカル部品の破損を防ぐため、エンジンを切った状態でキーを ON、（1）の位置のまま放置しないでください。

図 88

パーキング

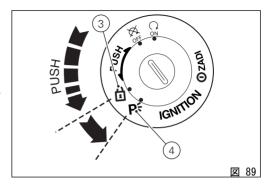
停止車両をサイドスタンドで支えて駐車します。盗難防止のため、ハンドルを左に振りきり、キーを（3）の位置に回します。車両をガレージやその他の建物内に駐車する際には、換気が充分され、車両の近くに熱源が無いことを確認してください。必要に応じ、キーを（4）の位置に回してパーキングランプを点灯させたままにすることができます。

重要

長時間キーを（4）の位置のままにしないでください。バッテリーが上がってしまうおそれがあります。監視できない場所に停車するときは、キーを付けたままにしないでください。

警告

エンジン停止後でもエキゾーストユニットは高温の場合があります。身体が触れないよう十分注意し、車両を木材や木の葉などの可燃物のそばに駐車しないようにしてください。

図 89

警告

発進を妨げるタイプの盗難防止用ロック（ディスクロック、リアスプロケットロック等）は大変危険です。車両の機能だけでなく、ライダーとパッセンジャーの安全をも損なうおそれがあります。

燃料の補給

給油の際、燃料の入れすぎに注意してください。燃料レベルはフィラープラグ（1）が収まる給油口より低くなければなりません。

図 90

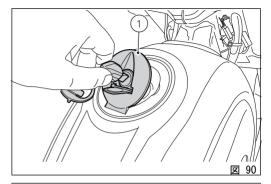
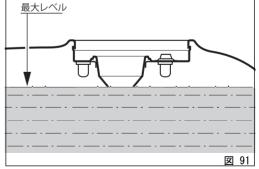
図 91

警告

オクタン価が 95 以上の鉛含有量の低い燃料を使用してください。

警告

この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料（E10）のみ使用することができます。

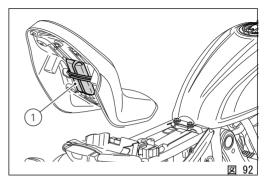
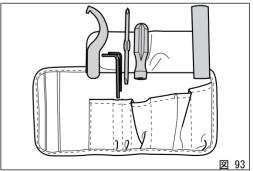
エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁じられています。こうした燃料を使用するとエンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用した場合は保証の対象外になります。

付属アクセサリー

シート下にはツールキット（1）が装備されています。
ツールキットに含まれる内容は以下の通りです。

- ドライバー
- ドライバーのハンドル
- 六角レンチ 3 mm
- 六角レンチ 4 mm
- プリロード調整レンチ
- プリロード調整レンチ用ハンドル

ツールキットを取り出すには、シートを取り外します ページ 117。

図 92

図 93

ブレーキフルードレベルの点検

フルードレベルは各リザーバータンクの MIN 目盛りを絶対に下回らないようにしてください。（図 94）はフロントブレーキフルードのリザーバータンク、（図 95）はリアブレーキフルードのリザーバータンクです。

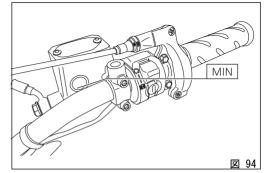
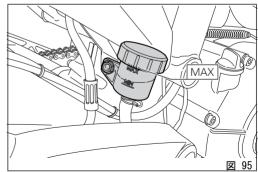
フルードレベルが下がりすぎると、回路内にエアが混入し、システムの作動に悪影響を及ぼします。

また、保証書内の定期点検表で指定されているブレーキ/クラッチフルード補充および交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。

重要

ブレーキ/クラッチシステムのホース類はすべて 4 年毎に交換してください。

図 94

図 95

ブレーキシステム

ブレーキパッドが磨耗していないのにブレーキレバー、ブレーキペダルに過度の遊びがある場合は、Ducati 正規ディーラーラーまたはサービスセンターにご連絡いただき、システムの点検とエア抜きを行ってください。

警告

ブレーキフルードはプラスチックおよび塗装部分に損傷を与えますので、こぼさないようにして下さい。
これらの液体は腐食性ですの損傷やケガを引き起こすおそれがあります。異なる品質のオイルを混ぜないでください。ガスケットの状態を点検してください。

エアフィルターの交換

重要

エアフィルターのメンテナンスは、Ducati 正規ディーラーラーまたはサービスセンターで実施してください。

ブレーキパッドの摩耗点検

キャリパー間の開口部からパッドの摩耗を点検します。
どちらか片方でもパッドの厚さが約 1 mm になっている場合は、両方のパッドを交換します。

警告

パッドが消耗しすぎると、ブレーキディスクと金属製サポートが接触することでブレーキ性能、ディスクの正常な状態、またライダーの安全を損なうおそれがあります。

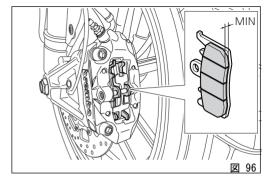
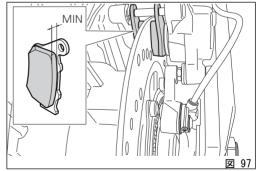
重要

ブレーキパッドの交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

図 96

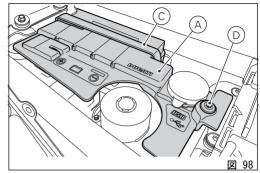
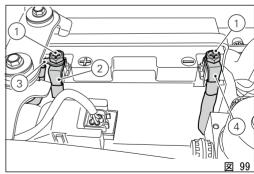
図 97

バッテリーの充電

警告
バッテリーの取り外しは Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

バッテリーの作業を行うには、シートを取り外しますページ 117。固定バンド (C) とスクリュー (D) を外し、バッテリーカバー (A) を取り外します。スクリュー (1) を緩めて外し、陽極ケーブル (2) および陽極ケーブル (ABS) (3) をプラス端子から、陰極ケーブル (4) をマイナス端子から取り外します。取り外しは必ずマイナス側 (-) から始め、所定の位置からバッテリーを引き抜きます。

警告
バッテリーは爆発性のガスを放出します。火花や炎、タバコを近づけないでください。バッテリー充電中、作業エリアが適切に換気されていることを確認してください。

図 98

図 99

充電は換気の良い場所で行ってください。
端子に充電器のコンダクターを接続します。赤い端子がプラス（+）、黒い端子がマイナス（-）です。

重要
バッテリーを充電器に接続する前に充電器の電源を入れないでください。接続する際に火花が発生し、セル内の可燃性ガスに引火する恐れがあります。接続は常に赤のプラス（+）端子から行ってください。

スクリュー（1、図 99）にグリースを塗布します。バッテリーを配置し、陽極ケーブル（2、図 99）および ABS 陽極ケーブル（3、図 99）をバッテリーのプラス端子に、陰極ケーブル（4、図 99）をマイナス端子に接続します。接続は必ずプラス側（+）から始め、スクリュー（1、図 99）を差し込みます。バッテリーカバー（A、図 98）を取り付けます。固定バンド（C、図 98）を取り付け、スクリュー（D、図 98）を 5 Nm ± 10 % のトルクで締め付けます。

警告
バッテリーはお子様の手の届かないところに置いてください。

バッテリーを 0.9A で 5 ～10 時間充電します。

外部エンジンスターターを接続してエンジンを緊急始動する必要がある場合、バッテリーを車両から取り外さずにスターターを接続することができます。外部エンジンスターターのプラスをバッテリーのプラス極に、外部エンジンスターターのマイナスをバッテリーのマイナス極に接続します。

警告
バッテリーを車両に取り付けた状態で電極に外部エンジンスターターを接続する際は、車両のほかの金属部分に触れないように注意してください。

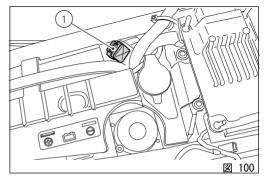
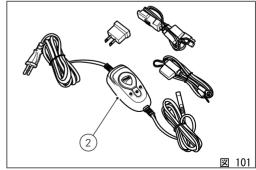
冬季のバッテリー充電およびメンテナンス

本車両のシート下にはコネクター（1）が装備されています。このコネクターには専用バッテリーチャージャー（2）（バッテリーメンテナーキット　部品番号：69924601A（各国）またはバッテリーメンテナーキット　部品番号：69924601AX（日本、中国、オーストラリアのみ））を接続することができます。専用バッテリーチャージャーは当社販売店にてお求めいただけます。

参考

本モデルのエレクトリカルシステムはエンジン停止状態での消費電力を非常に低く抑えるよう設計されています。ただし、バッテリーは自然に放電しており、放電量は使用していない期間や環境条件によって変化します。

図 100

図 101

重要
所定のメンテナーを介してバッテリー電力の最低値が維持されないと、修理が不可能なバッテリーの劣化を招くサルフェーション現象が生じます。

参考
車両を長期間使用しない場合は（およそ 30 日以上)、ドゥカティ純正バッテリーメンテナー（バッテリーメンテナーキット　部品番号：69924601A（各国）またはバッテリーメンテナーキット　部品番号：69924601AX（日本、中国、オーストラリアのみ）をご使用いただくことをお勧めします。ドゥカティ純正バッテリーメンテナーは内蔵エレクトロニクスが電圧をモニターし、最大 1.5Ah の充電が可能です。メンテナーを車両後部にある診断ソケットに接続します。

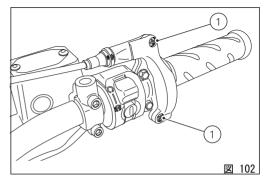
参考
Ducati が認可していないバッテリーメンテナーを使用すると、車両のエレクトリカルシステムに損傷を与えるおそれがあります。上記の理由でバッテリーが損傷した場合には、不適切なメンテナンスとみなし保証の対象にはなりません。

ジョイント部の潤滑

定期的にスロットルコントロールケーブル、およびスターターコントロールケーブルのアウターガードの状態を点検する必要があります。外側のプラスチックコーティングがつぶれていたり、ひびが入っていてはなりません。コントロールを操作し、インナーケーブルが滑らかに作動することを確認します。摩擦や引っかかりがある場合は Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターに交換を依頼してください。
このような問題を防止するため、定期的に各フレキシブルトランスミッションケーブルの先端にグリース SHELL Advance Grease または Retinax LX2 を塗布して潤滑してください。
スロットルトランスミッションの場合、2 本の固定スクリュー (1) を緩めてコントロールを開き、ケーブルの先端およびプーリーにグリースを塗布します。

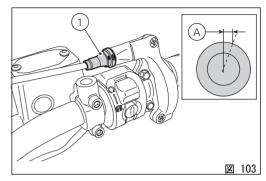
警告

プーリーにケーブルを挿入し、注意してコントロールを閉じます。

図 102

カバーを取り付け、スクリュー (1) を 1.8 Nm のトルクで締め付けます。
サイドスタンドのジョイント部の円滑な動作を維持するには、汚れをきれいに取り除いた後、摩擦が起きる部分すべてにグリース SHELL Alvania R3 を塗布します。

スロットルケーブルの調整

スロットルケーブルは、ハンドルバーのどの位置においても、グリップ端部で測定した場合にスロットルグリップの遊びが 2〜4 mm なければなりません。これは図中 (A) を参照した値です。
調整する必要がある場合は、スロットルコントロール上に設けられた専用アジャスター (1) を操作します。

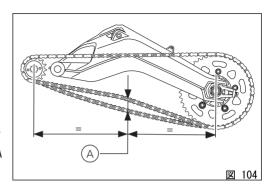
図 103

トランスミッションチェーン張力の点検

重要
チェーン張力の調整は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

リアホイールを回転させ、チェーンが最も張る位置を探します。サイドスタンドで車両を支えて駐車します。チェーンの測定位置を指で一度だけ下に押し、放します。チェーンピンの中心とスイングアームのアルミニウムとの間の距離 (A) を測定します。値 A = 27 ~ 29 mm でなければなりません。

重要
ドライブチェーンが張りすぎ、もしくは緩みすぎている場合は、測定値が指定の値になるように調整します。

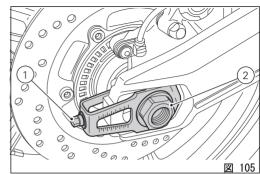
図 104

警告

安全な走行状態を維持するには、スイングアームのスクリュー（1）の正しい締め付けが重要です。

重要

チェーンの張りが不適切だとトランスミッション部品の磨耗を早めます。

スイングアーム両側の位置決めマーキングが合っていることを確認します。これにより正確なホイールアラインメントを取ることができます。ホイールシャフトのナット（2）のネジ山に SHELL Retinax HDX2 を塗布し、145 Nm のトルクで締め付けます。アジャスタースクリュー（1）のネジ山に SHELL Alvania R3 を塗布し、10 Nm のトルクで締め付けます。

図 105

チェーンの潤滑

本車両には、泥などの侵入を防ぎ、潤滑状態を長く保つ Oリングガスケット付きチェーンが装着されています。
チェーンを洗浄する場合には、シールの損傷を防止するため、専用の溶剤を使用してください。スチーム洗浄機等は使用しないでください。
洗浄後はコンプレッションエアまたは吸収素材でチェーンを乾かし、SHELL Advance Chain または Advance Teflon Chain で全体を潤滑します。

重要
規定以外の潤滑剤を塗布すると、チェーン、フロント/リアスプロケットに損傷を与えるおそれがあります。

ヘッドライドの電球の交換

重要
電球の交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

警告
雨天時または洗車後に車両を使用する際は、ランプレンズが曇っている場合があります。レンズ内の結露はランプを点灯すると短時間で消えます。

切れた電球を交換する前に、新しい電球が ページ 179 の〞エレクトリカルシステム〞の段落に記載されている電圧、電力と同じであることを確認してください。取り外した部品を再度取り付ける前に、必ず新しく取り付けた電球の機能を点検してください。
スクリュー (1) を緩めて外し、ヘッドライトマウントのクランプ (2) を回収します。

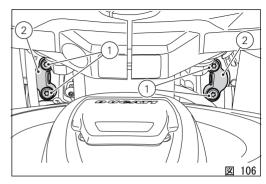
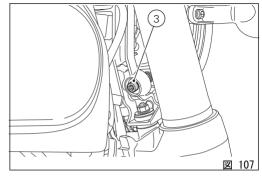
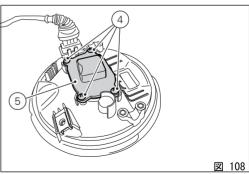
図 106

スクリュー（3）を緩めて外します。
ヘッドライトユニットをフロントマッドガード側に傾け、適切に支えます。電球カバー（5）のスクリュー（4）を緩めて外し、カバーを取り外します。

図 107

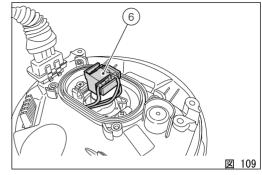
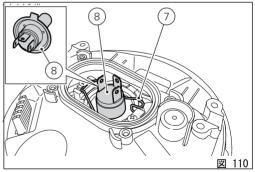
図 108

コネクター（6）を切り離します。
クリップ（7）を外します。
電球（8）はバイオネットベースタイプなので、取り外すには押しながら反時計回りに回します。電球を交換し、新しい電球を押しながら時計回りにカチッという音がするまで回して取り付けます。

参考

レンズの部分は絶対に指で触れないでください。電球の光度が落ちる原因となります。

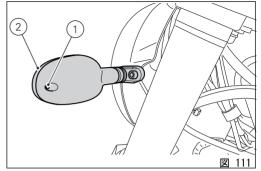
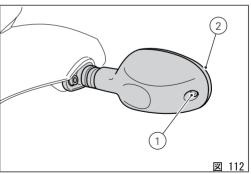
取り付けの際は、取り外した部品を取り外し時とは反対の手順で取り付け、スクリュー（1、図 106）を 5 Nm のトルクで締め付けます。

図 109

図 110

ターンインジケーターの電球の交換

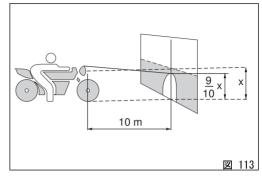
フロント/リアターンインジケーターの電球を交換するには、スクリュー（1）を緩めて外し、カバー（2）を取り外してください。

図 111

図 112

ヘッドライトの光軸調整

参考
ヘッドライトには左右の光軸調整用に 2 つのアジャスターが付いています。

正しいタイヤ空気圧に調整し、乗員 1 名がシートに乗った状態で、車両を壁面またはスクリーンの前 10 メートルの場所で縦軸に対して垂直に立て、ヘッドライトが正しい向きになっていることを確認します。壁にヘッドライトの中心と同じ高さで水平に線を引き、車体の縦軸に対応する垂直線も引きます。この点検は薄暗い場所で行ってください。ロービームランプを点灯し、左右の光軸調整を行います。照射領域の上限が、床面からヘッドライトの中心までの高さの 9/10 以下でなければなりません。

図 113

参考
この方法は、光軸の高さに関するイタリアの規則に準拠したものです。車両を使用する国、地域の法律に従い光軸調整を行ってください。

ヘッドランプの光軸調整

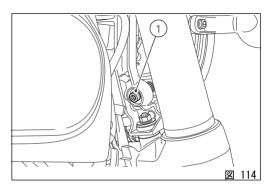
ヘッドライトの垂直方向の調整は、スクリュー (1) をマニュアルで操作して行います。

重要

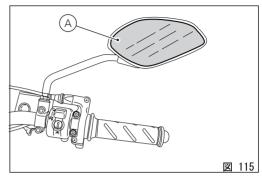
ヘッドランプの調整スクリューにエンドストップはありません。

警告

雨天時または洗車後に車両を使用する際は、ランプレンズが曇っている場合があります。レンズ内の結露はランプを点灯すると短時間で消えます。

図 114

リアビューミラーの調整

リアビューミラー（A）を手動で好みの位置に調整します。

図 115

チューブレスタイヤ

フロントタイヤ空気圧：
2.50 bar（ライダーのみ）- 2.50 bar（最大積載時）。
リアタイヤ空気圧：
2.50 bar（ライダーのみ）- 2.90 bar（最大積載時）。
タイヤの空気圧は外気温や高度によっても変化します。標高の高い場所や気温差のある場所を走行する時は、その都度点検と調整を行ってください。

重要

タイヤの空気圧はタイヤ冷間時に測定してください。フロントリムがダメージを受けないように、悪路を走行する時はタイヤの空気圧を 0.2～ 0.3 bar 上げてください。

タイヤの修理、交換（チューブレス）

タイヤに穴が開いた場合、チューブレスタイヤは空気の減り方が遅いため、気付くまでに時間がかかることがあります。タイヤの空気圧が下がってきた場合は、パンクの可能性をチェックします。

警告

パンクしたタイヤは交換してください。交換する際は、標準装備タイヤと同じメーカー、タイプを指定してください。走行中のエア漏れを防ぐため、タイヤのバルブキャップがしっかり締まっていることを確認してください。チューブタイプのタイヤは絶対に装着しないでください。突然タイヤが破裂し、ライダー、パッセンジャーに重大な危険を及ぼすおそれがあります。

タイヤ交換の後には、必ずホイールバランスの点検を行ってください。

警告

ホイールのバランスウェイトを外したり、移動させたりしないでください。

参考

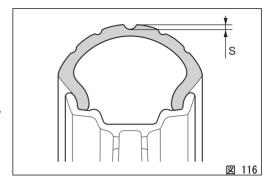
タイヤの交換ではホイールを正しく着脱することが重要です。タイヤ交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。ホイールにはセンサー、フォニックホイールなどの ABS システム部品が装着されており、特別の調整が必要になります。

タイヤの摩耗限度

タイヤのトレッド面が一番摩耗している箇所（S、図 116）の溝の深さを測定します。溝の深さは 2 mm 以上でなければならず、また現地法で定められた規定値以下であってはなりません。

重要

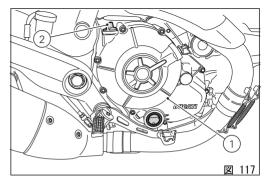
タイヤは定期的に点検し、特に側面に傷やヒビがないか、突起、広範囲のシミ、内部の損傷を表すような箇所がないかチェックしてください。損傷が著しい場合はタイヤを交換してください。トレッドに入り込んだ石や異物は取り除いてください。

図 116

エンジンオイルレベルの点検

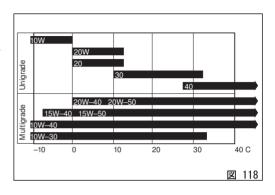
エンジンオイルの量は、クラッチカバーにある点検窓 (1) から見ることができます。レベルチェックは車体を垂直に配置し、エンジン冷間時に行ってください。オイル液面は、点検窓の横に指示された目盛の間になければなりません。オイル量が不足している場合は、エンジンオイル SHELL Advance 4T Ultra を補充してください。フィラーキャップ (2) を外し、指定オイルを規定のレベルまで補充してください。プラグを取り付けます。

重要

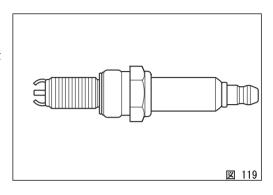
保証書に記載されている定期点検表に従い、エンジンオイルとオイルフィルターの交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

図 117

粘度

SAE 15W-50
車両を使用する環境の平均気温が規定範囲内であれば、表に記載されている以外の粘度のオイルも使用することができます。

図 118

スパークプラグの清掃と交換

スパークプラグはエンジンの重要な部品ですので、定期的な点検が必要です。
スパークプラグの交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

図 119

車両の清掃

塗装部分と金属部分の本来の艶を長期間保つため、使用状態や走行する道路の状態に合わせて、定期的に車両の清掃、洗車を行ってください。強力な洗剤や溶剤の使用は避け、可能であれば生分解性の専用洗剤を使用してください。
プレキシガラス部分やシートのお手入れには、水と中性洗剤を使用してください。
アルミニウム製部品は定期的に手作業で清掃してください。研磨剤や水酸化ナトリウムが含まれていないアルミニウム専用洗剤を使用してください。

参考

研磨材付きスポンジやスチールウールは使用せず、柔らかい布のみを使用してください。

十分なメンテナンスが行われていない車両は保証の対象になりません。

重要

走行直後のボディがまだ熱い状態にあるときは、水染み等を防ぐため洗車は行わないでください。
洗車には温水ジェットや高圧洗浄機を使用しないでください。
洗浄機の使用は、フォーク、ホイールハブ、電装システム、フォークガスケット、エアインテーク、エキゾーストサイレンサーの故障や不具合、ランプ内部の結露（くもり）を引き起こし、結果として車両の安全性を損ねるおそれがあります。
エンジンに著しい汚れや油脂汚れが見られる場合は、脱脂剤を使用して洗浄してください。その際、トランスミッション系統（チェーン、フロント/リアスプロケット等）に脱脂剤が付着しないように注意してください。

車両をぬるま湯で良くすすぎ、表面全体をセーム革で拭いて乾かします。

警告

洗車後は、ブレーキ性能が低下することがあります。ブレーキディスクには絶対にグリースや潤滑剤を塗布しないでください。ブレーキ性能が失われるおそれがあります。ディスクは非油性の溶剤で清掃してください。

警告
洗浄、雨、湿気などにより、ヘッドランプレンズにくもりが生じることがあります。レンズ内の結露はランプを点灯すると短時間で消えます。

ABS システムが効率よく作動するように、フォニックホイールを入念に清掃してください。ホイールやセンサーを傷めますので、強力な洗剤や溶剤の使用は避けてください。

長期間の保管

車両を長期間使用しない場合は、保管する前に以下の作業を行うようお薦めします。

- 車両を清掃します。
- 燃料タンクを空にします。
- スパークプラグの穴からシリンダー内に少量のエンジンオイルを注入し、エンジンを手で数回転させてシリンダー内壁に保護膜を形成させます。
- 車両をスタンドに立てかけて停車します。
- ケーブルを外し、バッテリーを取り外します。

1 ヶ月以上車両を使用しなかった場合には、バッテリーの点検を実施し、必要であればバッテリーの充電または交換を行ってください。
結露を防止し塗装を保護するため、車体をカバーで覆います。
車体カバーは Ducati Performance にて取り扱っております。

重要注意事項

国によっては（フランス、ドイツ、イギリス、スイス等）排気ガス、騒音規制の基準を設けている場合があります。
法律で義務付けられている定期点検を実施し、交換が必要な部品については各国の規制に適合する Ducati 純正パーツと交換してください。

メンテナンスプログラム

メンテナンスプログラム： ディーラーで行うメンテナンス

メンテナンス項目/作業内容 (km/マイル 毎、または経過時間*)	Km x1000 マイル x1000	1 0.6	12 7.5	24 15	36 22.5	48 30	期間 （月）
DDS による不具合メモリーの読み取り、およびコントロールユニットのソフトウェアバージョンの更新確認		●	●	●	●	●	12
テクニカルアップデートおよびリコールの有無の確認		●	●	●	●	●	12
エンジンオイルおよびフィルターの交換		●	●	●	●	●	12
エンジンオイルインテークフィルター清掃		●					-
バルブクリアランスの点検と調整			●	●	●	●	-
タイミングベルトの交換				●		●	60
スパークプラグの交換				●		●	-
エアフィルターの清掃			●		●		-
エアフィルターの交換				●		●	-
ブレーキオイルレベル点検		●	●	●	●	●	12
ブレーキオイルの交換							36
ブレーキパッドおよびディスクの摩耗点検。必要な場合は交換		●	●	●	●	●	12

メンテナンス項目/作業内容 (km/マイル 毎、または経過時間*) Km x1000	1	12	24	36	48	期間 （月）
マイル x1000	0.6	7.5	15	22.5	30	
ブレーキキャリパー、ブレーキディスクフランジスクリューの締め付け点検	●	●	●	●	●	12
フロント、リアホイールナットの締め付け点検	●	●	●	●	●	12
エンジンへのフレーム固定部品の締め付け点検		●	●	●	●	-
ホイールハブベアリングの点検			●		●	-
リアホイールシャフトの点検と潤滑			●		●	-
リアスプロケットのダンパーの点検			●		●	-
ファイナルドライブのリアスプロケットのナット、フロントスプロケットのナット締め付け点検	●	●	●	●	●	12
ファイナルドライブ（チェーン、フロントスプロケット、リアスプロケット）、およびチェーンスライダーの磨耗点検		●	●	●	●	12
ドライブチェーン張力の点検と潤滑	●	●	●	●	●	12
ステアリングベアリングの点検と潤滑			●		●	-
フロントフォークオイルの交換				●		-
フロントフォーク、リアショックアブソーバーのシーリング部品の目視点検	●	●	●	●	●	12

メンテナンス項目/作業内容 (km/マイル 毎、または経過時間*) Km x1000 / マイル x1000	1 0.6	12 7.5	24 15	36 22.5	48 30	期間（月）
サイドスタンド、センタースタンドの動作および締め付け点検（装備している場合）	●	●	●	●	●	12
フューエルホースの目視点検		●	●	●	●	12
フレキシブルケーブルと配線ケーブルの摩擦部分、遊びと動作、取り付け位置の目視点検	●	●	●	●	●	12
ハンドルレバー、ペダルコマンドの潤滑		●	●	●	●	12
タイヤ空気圧、磨耗点検	●	●	●	●	●	12
バッテリー充電レベルの点検	●	●	●	●	●	12
セカンダリーエアシステムの機能点検		●	●	●	●	-
セキュリティ電気装置の作動点検（サイドスタンドセンサー、フロント/リアブレーキスイッチ、エンジン停止スイッチ、ギア/ニュートラルセンサー）	●	●	●	●	●	12
ランプ、インジケーター類、警告ホーン、コマンド類の点検	●	●	●	●	●	12
DDS を介したサービスインジケーターのリセット	●	●	●	●	●	-
安全装置（ABS など）、アイドリングの動作点検を兼ねた路上での走行テスト	●	●	●	●	●	12
車両のソフトクリーニング	●	●	●	●	●	12

メンテナンス項目/作業内容 (km/マイル 毎、または経過時間*)	**Km x1000** **マイル x1000**	1 0.6	12 7.5	24 15	36 22.5	48 30	**期間（月）**
定期点検実施の車載書類（サービスブック）への記入		●	●	●	●	●	12
ワークショップマニュアルに従ったワイヤースポークホイールの点検		●	●	●	●	●	-

* 走行距離（km、mi）または経過時間（月）のうち、どちらか先に到達した時点で点検を実施してください。

メンテナンスプログラム： お客様が行うメンテナンス

メンテナンス項目/作業内容 (km/mile 毎、または経過時間 *)	**Km x1000**	1
	マイル x1000	0.6
	月	6
エンジンオイルレベルの点検		●
ブレーキオイルレベル点検		●
タイヤ空気圧、磨耗点検		●
チェーン張力の点検と潤滑		●
ブレーキパッドの点検必要であれば、ディーラーにて交換してください。		●

* 走行距離（km、mi）または経過時間（月）のうち、どちらか先に到達した時点で点検を実施してください。

テクニカル仕様

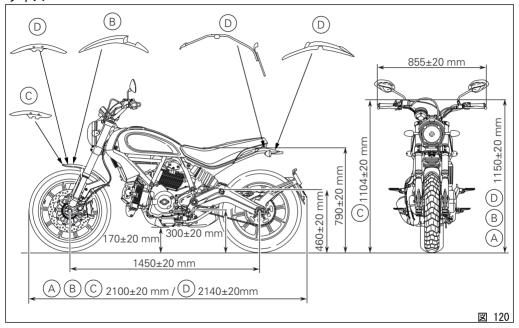
重量

車両重量（燃料 90% を含むすべての液体類を装備 – 93/93/CE ガイドラインに準拠）:
186 kg（ICON）
192 kg（URBAN ENDURO）
186 kg（FULL THROTTLE）
186.5 kg（CLASSIC）
車両重量（液体類、バッテリーを含まない）:
170 kg（ICON）
176 kg（URBAN ENDURO）
170 kg（FULL THROTTLE）
176.5 kg（CLASSIC）
車両総重量（最大負荷）:
365 kg

警告
重量制限を遵守しない場合、操縦性と性能の低下を招き、車両のコントロールを失う原因となります。

サイズ

D
B
D
D
C
855±20 mm
1150±20 mm
1104±20 mm
790±20 mm
460±20 mm
C
D
B
A
170±20 mm
300±20 mm
1450±20 mm
A B C 2100±20 mm / D 2140±20mm

図 120

寸法値の横に記載されている文字については、以下を参照してください。
A) Scrambler ICON
B) Scrambler URBAN ENDURO
C) Scrambler FULL THROTTLE
D) Scrambler CLASSIC

補給

補給	タイプ	
燃料タンク、リザーブ 4 リットルを含む	オクタン価 95 以上の無鉛ガソリン	13.5 リットル
エンジンクランクケースおよびフィルター	SHELL - Advance 4T Ultra	3.4 リットル
フロント/リアブレーキシステム、クラッチ	SHELL Advance Brake DOT 4	-
電極保護液	SHELL Advance Contact Cleaner	-
フロントフォーク	SHELL Advance Fork 7.5 または Donax TA	427 cm ^{3}（右レッグ） 298 cm ^{3}（左レッグ）

重要

燃料、潤滑液等には絶対に添加剤を加えないでください。このような燃料を使用すると、エンジンや車両の部品に重大な損傷をきたすおそれがあります。

警告

この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料（E10）のみ使用することができます。
エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁じられています。こうした燃料を使用するとエンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用した場合は保証の対象外になります。

エンジン

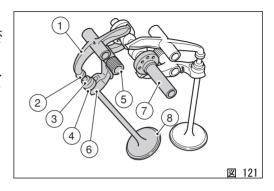
90° L 型、2 気筒 4 ストローク
ボア mm : 88
ストローク mm : 66
総排気量 cm^3 : 803
圧縮比 : 11 ± 0.5:1

タイミングシステム

デスモドロミックシステム：シリンダーごとに 2 本のバルブ、4 本のロッカーアーム（2 オープニングロッカーアーム、2 クロージングロッカーアーム)、オーバーヘッドカムシャフトスパーギア、プーリー、コグドベルトを介してクランクシャフトで制御されます。

デスモドロミックタイミングシステム

1) オープニング（アッパー）ロッカーアーム
2) オープニングロッカーシム
3) スプリットリング
4) クロージング（ロア）ロッカーシム
5) クロージングロッカーアームリターンスプリング
6) クロージング（ロア）ロッカーアーム
7) カムシャフト
8) バルブ。

図 121

性能データ
各ギアにおける最高速度は、決められた慣らし期間を正しく守り、適切な定期点検整備を受けた場合にのみ出すことができるようになります。

重要
これらの条件件が守られなかった結果としてのエンジンの損傷や寿命の短縮について、Ducati モーターホールディング社は一切責任を負うものではありません。

スパークプラグ
メーカー：NGK
タイプ：DCPR8E

燃料供給
SIEMENS 製間接式エレクトロニックインジェクションシステム
シリンダーごとのインジェクター数：1
インジェクター孔数：8
ガソリン燃料：95-98 RON

警告
この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料（E10）のみ使用することができます。
エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁じられています。こうした燃料を使用するとエンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用した場合は保証の対象外になります。

ブレーキ
各ブレーキのアンチロックシステムは、両タイヤに装備されたホール効果センサーで制御されます。ABS の解除が可能です。

フロント
穴あきセミフローティングディスク
ブレーキシュー材質：ステンレス
ハウジング材質：ステンレス
ディスク径：330 mm

右側ハンドルレバーによる油圧コントロール
ブレーキキャリパーメーカー：BREMBO
タイプ：M4.3 ピストン
ブレーキパッド材質：TT 2182 FF
ポンプタイプ：PS 13/22

リア
穴付き固定ディスク、スチール製
ディスク径：245 mm
車体右側ペダルによる油圧コントロール
メーカー：BREMBO
タイプ：PF32
ブレーキパッド材質：FERIT I/D 450 FF
ポンプタイプ：PS 11.

警告
ブレーキフルードは腐食性があります。
万一目に入ったり肌に触れたりした場合は、流水でしっかりと洗い流してください。

トランスミッション

湿式クラッチ、ハンドルバー左側レバーによる操作。エンジンとギアボックスメインシャフト間の駆動伝達。
エンジンスプロケット/クラッチスプロケット比：33/61
6 速コンスタントギア、車体左側ペダルによる操作

ギアスプロケット/リアスプロケット比：15/39
変速比：
1 速 13/32
2 速 18/30
3 速 21/28
4 速 23/26
5 速 22/22
6 速 26/24

チェーンによるギアボックスとリアホイール間の駆動伝達
メーカー：DID
タイプ：520 VF
寸法：5/8” x 1/4”
リンク数：104

重要

上記のギア比は認可時の値ですので、いかなることがあっても変更してはいけません。

警告

リアスプロケットの交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。
この部品の誤った交換は、ライダーおよびパッセンジャーの安全に深刻な危険をもたらし、車両に修復不能な損傷を与える恐れがあります。

フレーム

クロムモリブデン鋼製トレリスパイプフレーム
ステアリングアングル（片側）: 35°
キャスター角 : 24°
トレール mm : 112

ホイール

軽合金 10 本スポークホイール（ICON、FULL THROTTLE)
ワイヤースポークホイール (URBAN ENDURO、CLASSIC)

フロント
寸法 : MT 3.00 x 18”

リア
寸法 : MT 5.50 x 17”

両ホイールともシャフトの取り外しが可能です。

タイヤ

フロント
チューブレスラジアルタイヤ
寸法 : 110/80-R18 MC 58H

リア
チューブレスラジアルタイヤ
寸法 : 180/55-R17 MC73H

サスペンション

フロント

油圧式倒立フォーク、調整不可
インナーチューブ径：
51 mm
ホイールトラベル：150 mm

リア

プログレッシブタイプ。ショックアブソーバーはスプリングプリロードの調整が可能です。下部を基点にしてアルミニウムダイキャスト製片持ち式スイングアームと接続されています。このシステムは車両に高い安定性をもたらします。
ショックアブソーバーストローク：61 mm
リアホイールトラベル：150 mm

エキゾーストシステム

膨張室と消音室を有するステンレス製シングルサイレンサー。
サイレンサーに内蔵された触媒コンバーター、ヘッドからのエキゾーストパイプ上に 2 個のラムダセンサー付き。

カラーバリエーション

Scrambler ICON
Giallo ‘62 イエロー
プライマー、部品番号：DS20052 (LECHLER)
エナメル、部品番号：MC060035 (LECHLER)
フレーム、AKZO NOBEL カーボンブラック、部品番号：MY/2/9611AV
リム、マットブラック PEHADUR EINBRENN-LACK VPCH03352 (Peter Lacke)

Ducati レッド
プライマー、部品番号：2920007 (LECHLER)
エナメル、部品番号：LMC06017 (LECHLER)
フレーム、AKZO NOBEL カーボンブラック、部品番号：MY/2/9611AV
リム、マットブラック PEHADUR EINBRENN-LACK VPCH03352 (Peter Lacke)

Scrambler URBAN ENDURO
ワイルドグリーン
プライマー、部品番号：DS20054 (LECHLER)
エナメル、部品番号：MC060013 (LECHLER)
フレーム、AKZO NOBEL カーボンブラック、部品番号：MY/2/9611AV
リム、マットブラック PEHADUR EINBRENN-LACK VPCH03352 (Peter Lacke)

Scrambler FULL THROTTLE
ディープブラック
プライマー、部品番号：881I0748 (PALINAL)
ベース、部品番号：929.R223 (PALINAL)
クリアー、部品番号：923I.2176 (PALINAL)

フレーム、AKZO NOBEL カーボンブラック、部品番号：MY/2/9611AV
リム、マットブラック PEHADUR EINBRENN-LACK VPCH03352 (Peter Lacke)

Scrambler CLASSIC
オレンジサンシャイン
プライマー、部品番号：DS20052 (LECHLER)
ベース、部品番号：2909041 (LECHLER)
クリアー、部品番号：96230 (LECHLER)
フレーム、AKZO NOBEL カーボンブラック、部品番号：MY/2/9611AV
リム、マットブラック PEHADUR EINBRENN-LACK VPCH03352 (Peter Lacke)

エレクトリカルシステム

主要構成部品は以下の通りです。
ヘッドランプ：
ロービーム/ハイビームランプ：H4 ランプ（12V - 60/55W)
パーキングランプ：LED（3.1W/13.5V） 1 個
ハンドル上スイッチ
ターンインジケーター：
フロント：12V RY10W ランプ
リア：12 VRY10W ランプ
警告ホーン
ストップランプスイッチ
バッテリー 12V-10 Ah、ドライ。
ジェネレーター 14V-490W。
電子レギュレーターは、ヒューズボックス（C、 図 123）近くに設けられた 30A ヒューズで保護されています。
スターターモーター：12V-0.7 kW
テールライト：
パーキングランプ：LED（3.24W -12V） 2 個
ストップランプ：LED（7.9W-12V） 6 個
ナンバープレートランプ：
電球：LED（0.67W-13.5V） 3 個

参考

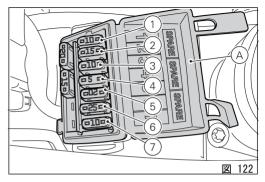
電球の交換は、"ハイ/ロービーム電球の交換"を参照してください。

ヒューズ

電装品保護するために、ヒューズボックス内に 7 個、スターターコンタクター上に 1 個のヒューズが設置されています。ヒューズボックス内には 2 個の予備ヒューズが用意されています。
ヒューズが保護する装置、アンペア値については表を参照してください。

ヒューズボックス（A、 図 122）はシート下に設置されています。ヒューズを交換するには、シートとバッテリーカバーを取り外します。ヒューズを交換するには、各ヒューズの配置と定格が表記された保護カバーを外します。

ヒューズボックス凡例		
配置	保護装置	容量
1	Key-ON	10 A
2	負荷	15 A
3	インストルメントパネル	10 A
4	コントロールユニット	5 A
5	インジェクション	20 A
6	ABS モーター	25 A
7	ABS	10 A

図 122

メインヒューズ (C) はスターターコンタクター (D) 上に設置されています。ヒューズを交換するには、保護キャップ (E) を取り外してください。切れたヒューズは、インナーフィラメント (F) が溶断しているかどうかで確認することができます。

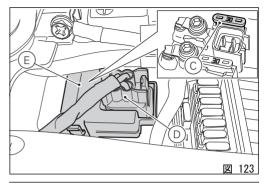
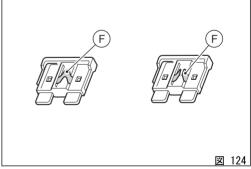
重要

回路のショートを防止するために、ヒューズ交換の前にイグニッションキーを OFF にしてください。

警告

表示されている規定以外のヒューズは決して使用しないでください。上記事項を守らなかった場合、エレクトリカルシステムの損傷や火災を引き起こすおそれがあります。

図 123

図 124

インジェクション/エレクトリカルシステム配線図凡例

1) フロントストップスイッチ
2) クラッチスイッチ
3) ハンドルバー右側スイッチ
4) キースイッチ
5) ハンドルバー左側スイッチ
6) ヒューズボックス
7) 携帯電話用充電器
8) Bluetooth モジュール
9) ABS コントロールユニット
10) スターターモーター
11) ヒューズコンタクター
12) バッテリー
13) アラーム
14) レギュレーター
15) ジェネレーター
16) 右リアターンインジケーター
17) テールランプ
18) 左リアターンインジケーター
19) ナンバープレートランプ
20) 燃料ユニット
21) 燃料ポンプアース
22) メインリレー
23) 燃料ポンプリレー
24) バーチカルラムダセンサー
25) ホリゾンタルラムダセンサー
26) ホリゾンタルスパークプラグ
27) バーチカルコイル
28) バーチカルスパークプラグ
29) ホリゾンタルコイル
30) ホリゾンタルインジェクター
31) バーチカルインジェクター
32) ポテンシオメーターモーター (TPS)
33) セカンダリーエアアクチュエーター
34) MAP センサー
35) オイル温度センサー
36) ECT センサー
37) リアスピードセンサー
38) サイドスタンドスイッチ
39) ギアセンサー
40) オイル圧スイッチ
41) リアストップ
42) データ取得/ 診断 (DDA)
43) エンジン回転数/タイミングセンサー
44) 気温センサー
45) コントロールユニット
46) ステッパーモーター
47) フロントスピードセンサー
48) トランスポンダーアンテナ
49) インストルメントパネル

50)　左側ヒーテッドグリップ
51)　右側ヒーテッドグリップ
52)　左フロントターンインジケーター
53)　ヘッドライト
54)　右フロントターンインジケーター
55)　警告ホーン

配線カラー表

B 青
W 白
V 紫
Bk 黒
Y 黄
R 赤
Lb ライトブルー
Gr グレー
G 緑
Bn 茶
O オレンジ
P ピンク

参考

配線図はマニュアルの最後部にあります。

定期点検メモ

定期点検メモ

KM	DUCATI SERVICE 名	走行距離	日付
1000			
12000			
24000			
36000			
48000			
60000			

Scrambler